

2015年12月1日(火)

ポスター会場2

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 1) 糖タンパク質・プロテオグリカン

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA061] CS鎖の減少とマウス着床前胚の多核割球の形成

○佐藤 伴¹、北川 裕之¹ (1.神薬大・薬。生化学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA062] P2Y2受容体の細胞表面への発現に与えるN型糖鎖の影響

○中川 哲人¹、大東 昂良¹、松崎 仁美¹、高橋 千央

¹、佐藤 慎平¹、竹山 尚平¹、黒田 善幸¹、三苦 純也

¹、東 秀好¹ (1.東北薬科大学 分子生体膜研究所 生体膜情報学研究室)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 3) 糖鎖関連酵素

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA063] マクロファージのO-結合型N-アセチルグルコサミン修飾調節機構に及ぼす運動トレーニングの影響

○白土 健¹、櫻井 拓也¹、小笠原 準悦¹、今泉 和彦

²、谷口 直之³、大野 秀樹⁴、木崎 節子¹ (1.杏林

大・医・衛生公衆衛生、2.早稲田大・人間科学・生体

機能、3.理研・グローバル研究クラスタ・システム糖

鎖生物、4.社会医療法人財団・大和会)

16:45 ~ 18:45

[1LBA064] ラクトシルセラミド合成酵素 (β 4GalT5及び β 4GalT6) 遺伝子の転写制御

○新田 美春¹、川口 沙織¹、佐藤 武史¹ (1.長岡技科

大院・糖鎖生命工学)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 4) グライコミクス

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA065] ヒト血清中のABO血液型特異的スフィンゴ糖脂質糖鎖解析

○横田 育子¹、古川 潤一¹、花松 久寿¹、酒井 祥太

¹、岡田 和恵¹、五十嵐 靖之¹、篠原 康郎¹ (1.北大

院・先端生命)

16:45 ~ 18:45

[1LBA066] 水生動物の遊離オリゴ糖とN-結合型糖鎖のグラ

イコミクス

○岡田 和恵¹、古川 潤一¹、篠原 康郎¹ (1.北大

院・先端生命)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 5) 糖脂質

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA067] ハプロイド細胞を用いたGPIアンカー生合成遺伝子の解析

○藤田 盛久¹、Yao Rong¹、中村 昇太²、平田 哲也

^{2,3}、元岡 大祐²、Yi-Shi Liu¹、Zeng-An He¹、Xiao-

Dong Gao¹、前田 裕輔^{2,3}、木下 タロウ^{2,3} (1.江南大

学・生物工程、2.阪大・微研、3.阪大・免疫学フロンティア)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 6) リン脂質

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA068] 出芽酵母におけるミトコンドリアへのホス

ファチジルエタノールアミンの供給に関するSfh1の機能解析

○水池 彩¹、小林 新吾¹、太田 明徳²、堀内 裕之¹、福

田 良一¹ (1.東大・院農・応生工、2.中部大・応生・応生化)

16:45 ~ 18:45

[1LBA069] IRBITはphosphatidylinositol phosphate kinasesの活性中心と結合する

○安東 英明¹、廣瀬 松美¹、Laura Gainche¹、河合

克宏¹、Benjamin Bonneau¹、伊集院 壮²、伊藤 俊樹

³、竹縄 忠臣³、御子柴 克彦¹ (1.理研・脳セン

ター・発生神経生物、2.神戸大・院医・生化

学、3.神戸大・バイオシグナル研究センター)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 7) 生理活性脂質

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA070] CRISPR/Cas9によるロイコトリエンA4水解酵素欠損マウスの作製

○古賀 友紹¹、奥野 利明¹、佐伯 和子¹、中村 衣里

²、多田 昇弘²、横溝 岳彦¹ (1.順大・院医・生化

学・細胞機能制御学、2.順大・院医・老研セン

ター・遺伝子解析モデル)

16:45 ~ 18:45

[1LBA071] 筋収縮様式の違いが筋内Phosphatidic Acid濃度およびmTORC1活性化に及ぼす影響

○阿藤 聰¹、真鍋 祐樹²、木戸 康平¹、蒔苗 裕平¹、菅原 達也²、藤田 聰¹ (1.立命館・大学院・スポーツ健康科学、2.京大・院農・海洋生生物生産利用)

16:45 ~ 18:45

[1LBA072] ジアシルグリセロール(DG)キナーゼによって代謝されるDG分子種のプロテインキナーゼC活性化能

○神谷 侑那¹、水野 悟¹、堺 弘道¹、坂根 郁夫¹ (1.千葉大・院・理・化学)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 8) ステロール、ステロイド、リポタンパク質

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA073] 脂質ドメインと膜秩序を変化させる化合物のスクリーニングと解析

○石塚 玲子¹、小林 俊秀¹ (1.理研・小林脂質生物学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA074] Mechanism by which accumulation of cholesterol intermediate causes delay in the endocytic recycling of transferrin

○富重 斎生¹、小林 俊秀^{1,2} (1.理化学研究所、2.仏・国立保健医学研究機構)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 9) 脂肪酸、貯蔵脂質

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA075] *n*-アルカン資化性酵母 *Yarrowia lipolytica* のデルタ12-脂肪酸不飽和化酵素の機能解析

○手崎 聰¹、岩間 亮¹、堀内 裕之¹、福田 良一¹ (1.東大・院農・応生工)

16:45 ~ 18:45

[1LBA076] 多価不飽和脂肪酸を含有するグリア細胞由来リポタンパク質の神経突起伸長作用

○松尾 道憲¹、中塔 充宏²、植田 和光^{2,3} (1.京大大・家政、2.京大・院農・応用生命、3.京大・iCeMS)

16:45 ~ 18:45

[1LBA077] ミリストン酸は筋管細胞のジアシルグリセロールキナーゼ6の発現とグルコース取り込み能を亢進する

○和田 祐子¹、堺 弘道¹、崎山 静花¹、坂根 郁夫¹

(1.千葉大・院・理・化)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 10) リピドミクス

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA078] Cross-classification of human urinary

lipidome by gender, age, and body mass index

○桶本 和男^{1,2}、前川 京子¹、田島 陽子^{1,2}、頭金 正博²、齋藤 嘉朗¹ (1.国立・衛研・医安、2.名市大・薬・医安評学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA079] 皮膚バリア機能に重要なセラミド代謝におけるP NPLA1の役割

○金子 亜里紗^{1,2}、安城 樹¹、平林 哲也¹、妹尾 勇弥³、柴田 章貴⁴、直江 綾乃⁵、石川 准子⁵、池田 和貴³、有田 誠³、谷 佳津子²、秋山 真志⁴、村上 誠^{1,6} (1.都医学研・脂質代謝、2.東薬大院・生命科学・細胞情報医科学、3.理研 IMS、4.名古屋大院・医・皮膚病態学、5.花王、6.AMED-CREST)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 1.糖質生物学・脂質生物学 | 11) その他

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA080] 線虫 *Caenorhabditis elegans* におけるスフィンゴシンキナーゼ sphk-1 とスフィンゴシ

ン-1-リン酸分解酵素 F53C3.13 の機能解析

○六嶋 千春¹、牛田 吉泰¹、山下 紘季¹、山地 美佳¹、早野 俊哉²、小島 寿夫¹、伊藤 將弘¹ (1.立命館大・生命科学・生命情報、2.立命館大・生命科学・生命医科)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 4.細胞の構造と機能 | 2) 核と細胞小器官の構造と機能

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA001] ERMES複合体の機能に関連する新規遺伝子の同定

○小島 理恵子^{1,2,3}、梶浦 秀²、遠藤 斗志也^{2,4}、田村 康^{1,3} (1.山形大・理・物質生命、2.名大院・理・物質理学、3.名大・物国センター、4.京産大・総合生命)

16:45 ~ 18:45

[1LBA002] ペルオキシソームの新規機能の探索 一ミトコ

ンドリアや小胞体との相互作用—

○田中 秀明¹、岡崎 朋彦¹、後藤 由季子¹

(1.東大・院薬・分子生物学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA003] MITOLによるミトコンドリア形態制御が心機能へ与える影響

○徳山 剛士¹、武田 啓佑¹、長島 駿¹、松下 暁子¹、毛利 聰²、若月 修二³、柳 茂¹ (1.東薬大・生命科学・分子生化学、2.川崎医大・生理学、3.国立精神・神経医療研究センター・神経研究所)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 4.細胞の構造と機能 | 3) 細胞内物流システム

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA004] コレラ毒素のリサイクリングエンドソームからゴルジ体への輸送はクラスリン、AP-1によって制御される

○仁木 隆裕¹、松平 竜之¹、田口 友彦²、新井 洋由^{1,2} (1.東大・院薬・衛生化学、2.東大・院薬・疾患細胞生物学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA005] ミトコンドリアクリステジャックション形成に関するMic19の輸送機構の解析

○植田 依里¹、田村 康²、遠藤 斗志也³ (1.名大・院理、2.山形大・理、3.京産大・総合生命)

16:45 ~ 18:45

[1LBA006] 線虫 *C. elegans* における積み荷受容体ホモログ SFT-4 の機能解析○三枝 慶子¹、佐藤 美由紀²、坂口 愛沙¹、原 太一¹、佐藤 健¹ (1.群馬大・生体調節研・細胞構造、2.群馬大・生体調節研・生体膜機能)

16:45 ~ 18:45

[1LBA007] 成長円錐の先導端で生じるアクチン束形成に伴うエンドサイトーシス

○野住 素広¹、五十嵐 道弘¹ (1.新潟大・院医歯学・分子細胞機能学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA008] ヒト成長ホルモンと、その選別輸送・分泌に関わる因子として新規に同定したCPEの相互作用の検討

○水谷 真子^{1,2}、猪子 英俊²、田中 正史² (1.帝京平成大・健康メディカル、2.東海大・医)

16:45 ~ 18:45

[1LBA009] 試験管内リン脂質輸送実験系を用いたミトコンドリア・小胞体間リン脂質輸送因子の探索

○古田 詩唯奈¹、遠藤 斗志也²、田村 康¹ (1.山形大・理・物質生命、2.京産大・総合生命・生命システム)

16:45 ~ 18:45

[1LBA010] ミトコンドリア低分子キャリアータンパク質Hem25の機能解析

○鈴木 万葵¹、小島 理恵子¹、遠藤 斗志也²、田村 康¹ (1.山形大・理学部・物質生命、2.京産大・総合生命・生命システム)

16:45 ~ 18:45

[1LBA011] ホスファチジルセリン(PS)の非対称分布を感じる新規PSプローブ

○菅原 小莉¹、李 尚憲¹、田口 友彦¹、新井 洋由^{1,2} (1.東大・院薬・衛生化学、2.AMED-CREST)

16:45 ~ 18:45

[1LBA012] NOによるニトロシル化修飾を介したファゴサイトーシス促進機構

○萩原 真^{1,2}、多田 浩之³、石田 直之^{1,4}、王 静舒¹、高田 鮎子¹、松下 健二¹ (1.国立長寿研・口腔疾患、2.新潟県大・健康栄養、3.東北大・院歯、4.松本歯科・歯学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA013] カルシウム結合タンパク質ALG-2と小胞体—ゴルジ体間順行輸送調節タンパク質TFGの相互作用解析と局在観察

○京 卓志¹、桑田 啓子²、高原 照直¹、牧 正敏¹、柴田 秀樹¹ (1.名大・院生命農・応用分子生命科、2.名大・トランスフォーマティブ生命分子研)

16:45 ~ 18:45

[1LBA014] Subcellular localization of Transaldolase 1 affects regulation of metabolic network

○盛山 哲嗣¹、田中 秀²、中山 泰宗³、馬場 健史³、福崎 英一郎³、米田 悅啓^{1,4}、岡 正啓^{1,4} (1.(国研) 医薬品・細胞核D、2.大阪大院・生命・細胞内分子移動学、3.大阪大院・工学・生物工学・生物資源工学領域、4.大阪大院・薬学・NIBIOHN・細胞核D)

16:45 ~ 18:45

[1LBA015] エンドサイトーシス-リサイクリング経路におけるホスファチジルセリンの局在と必要性

○連川 泰平¹、柏熊 竜太朗¹、十島 純子²、十島 二朗¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・教養学環)

16:45 ~ 18:45

[1LBA016] Complexin2による抗体分泌制御機構の解明

○都留 英美¹、澤田 健²、西原 真理³、津田 雅之¹ (1.高知大・総合研究七・動物実験施設、2.高知県立

あき総合病院精神科、3.愛知医科大・学際的痛みセンター)
16:45 ~ 18:45

[1LBA017] エンドサイトーシス経路における後期エンドソーム-リソソーム間融合を制御する新規タンパク質の同定
○瀬戸 貴成¹、十島 純子²、十島 二朗¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・教養学環)
16:45 ~ 18:45

[1LBA018] チモーゲン顆粒膜タンパク質GP2が消化酵素輸送機構に及ぼす影響の解析
○伊勢 瑛¹、丸山 希美²、鈴木 司^{1,2}、小林 謙一^{1,2}、山本 祐司^{1,2} (1.東農大・農学・農芸化学、2.東農大・応生・化学)
16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 4.細胞の構造と機能 | 4) オートファジー

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA019] プレオートファゴソーム構造体の中核複合体のin vitro再構成と性状解析
○藤岡 優子¹、山本 林²、鈴木 翔²、大隅 良典²、野田 展生^{1,3} (1.微化研・分子構造、2.東工大・フロンティア、3.CREST, JST)
16:45 ~ 18:45

[1LBA020] 出芽酵母の選択的オートファジーに必要なアダプタータンパク質Atg11はリン酸飢餓で起こるバルクオートファジーにも関与する
横田 浩人¹、五味 勝也¹、○新谷 尚弘¹ (1.東北大・院農・生物産業創成科学)
16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 4.細胞の構造と機能 | 5) 細胞骨格、細胞運動、細胞接着、細胞外マトリックス

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA021] Pin1による巨核球膜構造変化制御
○清水 泰希¹、鈴木 伸幸¹、本橋 ほづみ²、内田 隆史¹ (1.東北大・院農・分子酵素学、2.東北大・加齢研・遺伝子発現制御)
16:45 ~ 18:45

[1LBA022] クローディンサブタイプ間におけるトランスクルマツ作用の特異性の網羅的解析
○西川 将司^{1,2}、月田 早智子³、藤吉 好則^{1,2} (1.細胞生理学研究センター、2.名大・院創薬・基盤創薬学、3.阪大・院・生命機能/医学系)

16:45 ~ 18:45

[1LBA023] 乳腺分化を制御する新規のネクチン依存性細胞間接着装置
○圓岡 真宏¹、北山-吉田 美登里²、水谷 清人¹、高井 義美¹ (1.神大・院医・病態シグナル学、2.神大・院医・口腔外科学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA024] 非中心体表現とその関連蛋白Nezha細胞で移動中の生物学の機能～序説

○王 珮¹、宁 文秀¹、孟 文翔¹ (1.中国科学院,与育学研究所)

16:45 ~ 18:45

[1LBA025] 骨分化誘導タンパク質NELL1のヘリシン結合部位の解析
○高橋 謙嘉¹、今井 杏理紗²、○新美 友章¹

(1.名大・院生命農、2.名大・農)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 4.細胞の構造と機能 | 6) 細胞周期、細胞分裂、細胞極性

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA026] 有糸分裂期における微小管ダイナミクスの阻害様式がAurora B併用阻害の細胞応答に及ぼす影響
○飯森 真人¹、津田 康雄²、沖 英次²、佐伯 浩司²、北尾 洋之¹、前原 喜彦² (1.九大・院医・がん分子病態、2.九大・院医・消化器総合外科)

16:45 ~ 18:45

[1LBA027] 大腸がん細胞におけるSRSF7を介した細胞周期調節機能の解析
○西條 早希^{1,2}、西田 憲生²、狩野 静香²、佐竹 譲²、藤田 紹代²、板井 美樹²、田中 裕基²、桑野 由紀²、六反 一仁² (1.徳島大学医学部スチューデントラボ、2.徳島大学大学院医歯薬学研究部病態生理学分野)

16:45 ~ 18:45

[1LBA028] エンドサイトーシス破綻が引き起こす細胞核の肥大化メカニズムとその腫瘍悪性化における役割
○叢 博杰¹、大澤 志津江¹、瀧野 恒子¹、井垣 達吏^{1,2} (1.京都大学・大学院生命科学研究科・システム機能学、2.科学技術振興機構さきがけ)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 4.細胞の構造と機能 | 7) アポトーシス、細胞死

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45～18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA029] 遺伝学と理論的アプローチによる細胞競合機構の解析

○馬場 翔子¹、大澤 志津江¹、西川 星也²、高松 敦子²、井垣 達史^{1,3} (1.京大・院生命・高次、2.早稲田大・院先進理工・電気情報生命、3.科学技術振興機構・さきがけ)

16:45～ 18:45

[1LBA030] Ago1に特異的に結合する新規小分子RNA

○幸谷 愛¹ (1.東海大・総医研・造血腫瘍)

16:45～ 18:45

[1LBA031] 細胞競合と創傷治癒の共通原理とその分子基盤

○飯田 千晶¹、大澤 志津江¹、山本 真寿¹、井垣 達史^{1,2} (1.京大・院生命科学・システム機能学、2.JSTさきがけ)

16:45～ 18:45

[1LBA032] 新規ホモ接合Minuteモデルを用いた細胞競合の遺伝学的解析

○佐奈喜 祐哉¹、柴田 翔子¹、井垣 達史^{1,2} (1.京都大学生命科学研究科システム機能学分野、2.さきがけ)

16:45～ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 4.細胞の構造と機能 | 8) その他

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45～18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA033] リソーム活性の上昇は神経幹細胞の休眠状態を維持するのに必須である

○小林 妙子^{1,2,3,4}、影山 龍一郎^{1,2,3,4,5} (1.京大・ウイルス研、2.クレスト、JST、3.京大・院医、4.京大・院生命、5.京大・iCems)

16:45～ 18:45

[1LBA034] メンヨウ前駆脂肪細胞の増殖および分化におけるケメリソームの影響

○宋 相憲¹、松本 卓也¹、就 哲也¹、木下 晋吾¹ (1.島根大・生物資源)

16:45～ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 5.細胞応答 | 1) 細胞外シグナル分子、受容体、イオンチャネル

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45～18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA035] 核内IkappaB-zetaによる免疫恒常性維持機構の解明

○丸山 貴司¹ (1.岐大・医)

16:45～ 18:45

[1LBA036] 膜タンパク質のダイマー化形成制御法を用いたs

yndecan-4の機能解析

○渡辺 健介¹、武内 敏秀¹、中瀬 生彦²、二木 史朗¹ (1.京大・化研、2.阪府大・21世紀科学研究機構・ナノ科材研究センター)

16:45～ 18:45

[1LBA037] 高速原子間力顕微鏡による電位依存性プロトンチャネルの1分子観察

○山下 隼人^{1,2}、川鍋 陽^{3,4}、岡村 康司^{3,4}、阿部 真之¹ (1.阪大・院基礎工・極限科学センター、2.JST・さきがけ、3.阪大・院医、4.JST・CREST)

16:45～ 18:45

[1LBA038] オクタペプチドがLDL受容体の遺伝子発現に及ぼす効果

○杉田 大夢¹、○井上 優¹、亀卦川 樹¹、濱田 康太¹、高知尾 尚志¹、越中谷 賢治¹、向井 有理¹ (1.明大院・理工・電気工学)

16:45～ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 5.細胞応答 | 3) Gタンパク質、シグナル伝達タンパク質

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45～18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA039] サイクリックヌクレオチドとカルシウムの同時生細胞イメージング

○川田 聖香¹、増岡 伸弥¹、渡部 廉¹、堀 哲也¹、○齋藤直人¹ (1.同大・生命・医シス)

16:45～ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 5.細胞応答 | 4) プロテインキナーゼ、ホスファターゼ

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45～18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA040] 14-3-3はARK5のキナーゼ活性と細胞内局在を調節する

○飯田 直幸¹、吉本 真吾¹、飯田 侑生¹、大関 沙也加¹、小倉 麻子¹、柴垣 芳夫¹、服部 成介¹ (1.北里大学)

16:45～ 18:45

[1LBA041] Ca²⁺/CaM-dependent protein kinase I δ

(CaMKI δ) による Distal-less homeobox 1 (DLx1) のリン酸化とオステオカルシンの転写制御

○秋月 一駿¹、千賀 由佳子^{1,2}、杉山 康憲¹、龜下 勇¹、末吉 紀行¹ (1.香川大・農・応用生物科学、2.産総研・バイオメディカル研究部門)

16:45～ 18:45

[1LBA042] Dual specificity tyrosine-phosphorylation-

regulated kinase 1A (DYRK1A) によるCyclin-dependent kinase-like 5 (CDKL5) のリン酸化とその意義

○大井 愛海¹、片山 将一¹、三木 洋祐¹、波多野 直哉²、杉山 康憲¹、末吉 紀行¹、龜下 勇¹ (1.香川大・農・応用生物科学、2.神戸大・医・質量分析総合センター)

16:45 ~ 18:45

[1LBA043] CaMKI α とCaMKI β のホスファターゼ抵抗性に注目した活性調節機構の比較解析

○千賀 由佳子^{1,2,4}、石田 敦彦³、茂里 康⁴、龜下 勇¹、末吉 紀行¹ (1.香川大・農・応用生物科学、2.産総研・バイオメディカル研究部門、3.広大院・総科、4.産総研・健康工学研究部門)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 5.細胞応答 | 5) ストレス応答、レドックス応答

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA044] Intervention in Premature Cellular Senescence by Salubrin through Activation of eIF2 α

○Liubao Gu¹、Rongwen Bian¹、Wei Tang¹ (1.Jiangsu Province Institute of Geriatrics)

16:45 ~ 18:45

[1LBA045] KDER1はナイーブT細胞において統合ストレス応答を調節する

○上村 大輔^{1,2}、勝沼 功吉²、有馬 康伸^{1,2}、熱海 徹^{1,2}、Jing-Jing Jiang^{1,2}、板東 秀典^{1,2}、Jie Meng^{1,2}、Lavanya Sabharwal^{1,2}、Andrea Stofkova¹、西川 直樹¹、鈴木 宏尚^{1,2}、小椋 英樹^{1,2}、植田 尚子²、鶴岡 峰子²、原田 誠也²、小林 純也³、長谷川 孝徳⁴、吉田 尚弘⁵、古閑 明彦⁴、三浦 郁生⁶、若菜 茂晴⁶、西田 圭吾⁷、北村 秀光⁷、深田 俊幸⁷、平野 俊夫⁸、村上 正晃^{1,2} (1.北大・遺制研・医・分子神経免疫、2.阪大・生命機能・医・発生免疫、3.京大・放射線生物研究センター、4.理研・統合生命医科学・免疫器官形成、5.理研・統合生命医科学・疾患遺伝、6.理研・バイオリソース・マウス表現型解析開発、7.理研・統合生命医科学・サイトカインシグナル、8.阪大)

16:45 ~ 18:45

[1LBA046] 短時間の機械的ストレスによるヒト血管内皮細胞内一酸化窒素とカルシウムイオンの動態

○王 静舒¹、萩原 真¹、高田 鮎子¹、松下 健二¹ (1.国立長寿研・口腔疾患)

16:45 ~ 18:45

[1LBA047] OXR1による酸化ストレス防御と寿命制御

○小孫 一浩¹、宮路 将弘¹、秋山-張 秋梅¹ (1.京大・院理・生物科学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA048] HIF-1 α 内因性活性化物質の同定と作用機序の解明

○芹澤 茉里子^{1,3}、伊藤 昭博^{1,2,4}、中田 明子¹、前田 里子²、中尾 洋一³、吉田 稔^{1,2} (1.理研 化学遺伝、2.理研 環境資源・ケミカルゲノミクス、3.早大院先進理工、4.科技機構 CREST)

16:45 ~ 18:45

[1LBA049] マウス頭蓋冠におけるリポポリサッカリドによる骨破壊とグルタチオンの効果

○藤田 洋史¹、大野 充昭²、青山 絵理子³、荻野 哲也⁴、近藤 洋一¹、大内 淑代¹ (1.岡大院・医歯薬・細胞組織学、2.岡大院・医歯薬・分子医化学、3.岡大・歯・先端領域研究センター、4.岡山県大保福・基礎看護学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA050] 流体シェアストレスはTRPV6の活性化を介して微絨毛形成を誘導する

○三浦 重徳^{1,2,3}、佐藤 幸治^{1,2}、根岸 みどり^{1,2}、手島 哲彦¹、竹内 昌治^{1,2} (1.東大・生研・2部竹内研、2.ERATO竹内バイオ融合プロジェクト、3.京大・再生研・生体分子設計学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA051] 糸状菌*Aspergillus nidulans*のアミノ酸代謝を介した一酸化窒素耐性機構

○塚越 まどか¹、舛尾 俊介¹、周 勝敏¹、高谷 直樹¹ (1.筑波大院・生命環境)

16:45 ~ 18:45

[1LBA052] Allantopyrone AによるKeap1-Nrf2経路の活性化と細胞保護作用

○上杉 祥太¹、近藤 恒光²、室井 誠²、塩野 義人³、長田 裕之²、木村 賢一¹ (1.岩手大院・連合農、2.理研C SRS・ケミカルバイオロジー、3.山形大・農)

16:45 ~ 18:45

[1LBA053] 光センサー型転写調節蛋白質LitRの機能に関与するアミノ酸残基の同定

見世 光¹、丸山 貴史¹、萩原 健太¹、上田 賢志¹、○高野 英晃¹ (1.日大・生資科・生命セ)

16:45 ~ 18:45

[1LBA054] Vero細胞のジフテリア毒素感受性への放射線の影響

○馬田 敏幸¹ (1.産業医大・RIC)

16:45 ~ 18:45

[1LBA055] 乳がん細胞のスフェロイド形成によるp53活性化の変化

- 前田 美穂¹、三井 靖雅²、町山 裕亮³、原田 伊知郎⁴、澤田 泰宏⁵、藤田 英明⁶、川内 敬子⁷ (1.甲南大学 フロンティアサイエンス学部、2.甲南大学 フロンティアサイエンス学部、3.大阪大学免疫学フロンティア研究センター、4.東工大 生体分子機能工学専攻、5.国立障害者リハビリテーションセンター研究所、6.大阪大学免疫学フロンティア研究センター、7.甲南大学 フロンティアサイエンス学部)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 5.細胞応答 | 6) その他

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA056] バチルス属細菌が生産する抗コリネ型細菌物質の精製

- 鶴岡 祐太¹、川崎 寿¹、中松 亘¹、夏目 亮¹ (1.東電大・院・工)

16:45 ~ 18:45

[1LBA057] マウスTLR 5 細胞外LRRCTドメイン変異体の機能解析

- 魚住 尚紀¹、村越 隆之¹ (1.埼玉医大・医・生化)

16:45 ~ 18:45

[1LBA058] 細胞の足場の硬さに依存したp53活性化の変化

- 三井 靖雅¹、前田 美穂¹、江畠 貴弘¹、町山 裕亮²、原田 伊知郎³、澤田 泰宏⁴、藤田 英明²、川内 敬子¹ (1.甲南大 フロンティアサイエンス学部、2.大阪大学免疫学フロンティア研究センター、3.東工大 生体分子機能工学専攻、4.国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

16:45 ~ 18:45

[1LBA059] アカントアメーバに見られるレジオネラ菌などの細菌類との共生関係について

- 下河原(古島) 理江子^{1,2,3}、八木田 健司¹ (1.感染研・寄生動物、2.東理大・理II、3.東医歯大・寄生虫病学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA060] バソヒビン-1によるVEGF及びFGF2シグナル伝達阻害と抗血管新生

- 小林 美穂¹、鈴木 康弘¹、佐藤 靖史¹ (1.東北大・加齢研・腫瘍循環)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 10.神経科学 | 1) 神経系の発達と分化

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA104] 小脳EGLにおけるProx1の機能解析

- 宮下 聰^{1,2}、瀬戸 裕介³、会田 将吾¹、川口 義弥⁴、星野 幹雄¹ (1.NCNP・病態生化学、2.早稲田・先進研、3.阪大・院医・分子行動神経科学、4.京大・CiRA・臨床応用研究)

16:45 ~ 18:45

[1LBA105] 小脳顆粒細胞の分裂および分化におけるMefis1の調節機構

- 大輪 智雄¹、田谷 真一郎¹、宮下 聰¹、西岡 朋生²、中村 卓郎³、五飯塚 僚⁴、貝淵 弘三²、星野 幹雄¹ (1.国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 病態生化学研究部、2.名古屋大学大学院 医学系研究科 神経情報薬理学、3.がん研究所 発がん研究部、4.東京理科大学 生命医科学研究所 発生及び老化研究部門)

16:45 ~ 18:45

[1LBA106] Pou3f2/Brn-2の哺乳類固有の分子構造は脳細胞数に影響を与える

- 橋詰 晃一¹、那須 信¹、植田 信太朗¹ (1.東大・院理・生物科学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA107] 線虫*C. elegans*を用いた神経活動依存的なGABA機能成熟に関わる分子メカニズムの探索

- 新海 陽一¹、戸井 基道¹ (1.産業技術総合研究所・バイオメディカル研究部門・脳遺伝子研究グループ)

16:45 ~ 18:45

[1LBA108] 生後に產生された海馬歯状回神経幹(前駆)細胞の移動における低分子量Gタンパク質Racの機能

- 伊東 秀記¹、森下 理香¹、永田 浩一¹ (1.愛知県立口二・研・神経制御)

16:45 ~ 18:45

[1LBA109] Forskolinによって誘導されるPC12細胞の神経突起伸長と最初期遺伝子nur77を介した発現機構の詳細

- 島山 恵利花¹、津村 風帆¹、井戸 大記²、丸岡 弘規³、富岡 拓磨¹、山添 亮輔¹、下家 浩二^{1,2} (1.関西大学大学院 理工学研究科、2.関西大学 化学生命工学部 生命生物工学科、3.倉敷紡績株式会社 技術研究所 生化学グループ)

16:45 ~ 18:45

[1LBA110] 細胞形態の調節においてのsez-6のN型糖鎖の役割

○日高 千晴^{1,2}、三井 真一¹ (1.群大・院保・リハビリ科学、2.東海大・創造科学技術研究機構 医学部門)
16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 10.神経科学 | 2) シナプス伝達、可塑性、記憶、学習、行動

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1
16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA111] ダイオキシンによる子育て減退と出生児発育障害の世代継承：育児母体のプロラクチンに着目した解析

○伊豆本 和香¹、武田 知起¹、藤井 美彩紀¹、石井 祐次¹、山田 英之¹ (1.九州大学大学院 薬学府・薬学研究院 分子衛生薬学分野)

16:45 ~ 18:45

[1LBA112] ミツバチにおけるセリン/スレオニンキナーゼをコードする新規初期応答遺伝子の解析

○宇賀神 篤^{1,2}、内山 博允³、宮田 徹¹、佐々木 哲彦⁴、矢嶋 俊介³、小野 正人¹ (1.玉川大・院農、2.学振 PD、3.東京農大・NGRC、4.玉川大・ミツバチ科学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA113] G-CaMP7発現マウス大脳皮質脳細胞活動の細胞-領野スケール長期イメージング実験解析法

○茂木 優貴^{1,2}、安藤 恵子^{1,2}、沖 篤志^{1,2}、岩井 陽一³、毛内 払³、平瀬 肇^{1,2,3}、大倉 正道^{1,2}、中井 淳一^{1,2} (1.埼玉大・院理工、2.埼玉大・脳セ、3.理研・脳セ・神経グリア回路研究チーム)

16:45 ~ 18:45

[1LBA114] 脳内空間表現を実空間に合わせるキャリブレーション・コード: 時間の前後関係は空間の前後関係を表現する

○平本 正輝¹、Hollis Cline¹ (1.スクリプス研究所)
16:45 ~ 18:45

[1LBA115] ニューロンIDの可視化～クラスター型プロトカドヘリンの発現解析～

○金子 涼輔¹、阿部 学²、高鶴 裕介¹、Chris De Zeeuw³、渡辺 雅彦⁴、崎村 建司²、柳川 右千夫¹、八木 健⁵ (1.群馬大・医、2.新潟大・脳研、3.エラスマス医療センター、4.北大・医、5.阪大・生命機能)

16:45 ~ 18:45

[1LBA116] シナプトソームにおけるS-guanyl化タンパク質の網羅的解析

○岸本 祐典¹、國枝 恒兵¹、澤 智裕²、赤池 孝章³、居原 秀¹ (1.大阪府立大・院理・生物科学、2.熊本大・院生命科学・微生物学、3.東北大・院医・環境保健医学)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 10.神経科学 | 3) 感覚、生物時計、光周波

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA117] 2種類のニワトリメラノプシンにおけるGタンパク質の選択性

○鳥居 雅樹¹、小島 大輔¹、西村 明幸²、伊東 広²、深田 吉孝¹ (1.東大・院理・生物科学、2.奈良先端大・バイオサイエンス)

16:45 ~ 18:45

[1LBA118] 心理的ストレスは神経障害性疼痛マウスの脊髄におけるNR2AとNR2Bの発現に影響する

○首藤 由江¹、下條 正仁²、福永 幹彦¹ (1.関西医大心療内科、2.大阪医大)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 10.神経科学 | 4) その他

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA119] *In silico* Identification and Baculovirus-

Mediated Recombinant Expression of Putative Neuroactive Peptides from the Venom Duct Transcriptomes of Marine Gastropods

○Oscar A. Acopiado¹、Dominic S. Alba¹、Louise Mari E. Bautista¹、Cynthia P. Saloma¹
(1.Laboratory of Molecular and Cell Biology, National Institute of Molecular Biology and Biotechnology, University of the Philippines Diliman)

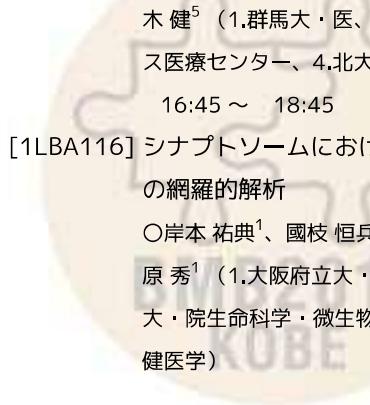
16:45 ~ 18:45

[1LBA120] The activation of autophagic flux can improve cognitive function in an Aβ42-injection mouse model of Alzheimer's disease

○Yung-feng Liao¹、Yun-Wen Chen¹、Rita P.-Y. Chen²、Chang-Jen Huang² (1.Institute of Cellular and Organismic Biology, Academia Sinica, Taipei, TAIWAN.、2.Institute of Biological Chemistry, Academia Sinica, Taipei, TAIWAN.)

16:45 ~ 18:45

[1LBA121] Recombinant Expression in SF9 cells and Characterization of Putative Neuroactive Peptides from the Venom Duct Transcriptome of the Splendid Gem Turrid,



Gemmula speciosa

○Micaella aliza C. Empleo¹、Dominic S. Alba¹、Louise Mari E. Bautista¹、Cynthia P. Saloma¹
 (1.Laboratory of Molecular and Cell Biology,
 National Institute of Molecular Biology and
 Biotechnology, University of the Philippines -
 Diliman)

16:45～ 18:45

[1LBA122] HDAC inhibitor decreases protein expression of p35 and p25 in primary neuronal cells

○Jungwon Seo¹ (1.Dept. of Pharmacy,
 Wonkwang University)

16:45～ 18:45

[1LBA123] ロテノンによるパーキンソン病モデルラットにおける神経型MHCの発現

○石堂 正美¹ (1.国環研)

16:45～ 18:45

[1LBA124] 大脳新皮質の機能的な微小カラムが示す六方格子状配列

○丸岡 久人¹、酒井 誠一郎¹、米田 泰輔¹、中川 直¹、細谷 俊彦¹ (1.理研BSI・局所神経回路研究チーム)

16:45～ 18:45

[1LBA125] 脳深部観察のための補正環自動調整システムの開発

○樋口 香織^{1,2}、上 喜裕^{1,2}、毛内 拡³、西脇 大介^{1,2}、田島 鉄也^{1,2}、岡咲 賢哉^{1,2}、平瀬 肇³、宮脇 敦史^{1,3} (1.理研BSI - オリンパス連携センター、2.オリンパス株式会社、3.理化学研究所 脳科学総合研究センター)

16:45～ 18:45

[1LBA126] ヒスタミンによるミクログリア機能制御について

○吉川 雄朗¹、飯田 智光¹、松澤 拓郎¹、中村 正帆¹、谷内 一彦¹ (1.東北大・院医・機能薬理)

16:45～ 18:45

[1LBA127] 運動神経損傷後に起こるグリア細胞の機能

○田中 達英¹、村上 公一¹、野村 太一¹、板東 良雄¹、吉田 成孝¹ (1.旭川医大・医・解剖・機能形態)

16:45～ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 11.植物、農生物学、食品科学 | 1) 植物のオルガネラ、細胞、器官形成

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45～ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA081] 様々なストレスに対する葉緑体内Ca²⁺シグナリ

ング

○小谷 美穂¹、椎名 隆¹ (1.京府大)

16:45～ 18:45

[1LBA082] PI(3,5)P2が根毛の先端成長に関与する細胞膜S NARE, SYP123の機能に及ぼす影響

○山本 美奈¹、佐藤 雅彦¹、平野 朋子¹ (1.京都府立大学 生命環境学部)

16:45～ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 11.植物、農生物学、食品科学 | 2) 植物ゲノムと遺伝子、オミックス解析

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45～ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA083] Endoplasmic Reticulum Proteomics of Soybean Root Tip under Flooding and Drought Stresses

○Xin Wang^{1,2}、Setsuko Komatsu^{1,2} (1.Univ. Tsukuba、2.NARO Inst. Crop Sci.)

16:45～ 18:45

[1LBA084] Organ Specific Analysis of Post-Flooding Recovery in Soybean using Proteomic and Enzymatic Techniques

○Mudassar Nawaz Khan^{1,2}、Setsuko Komatsu^{1,2} (1.Univ. Tsukuba、2.NARO Inst. Crop Sci.)

16:45～ 18:45

[1LBA085] Temporal Analysis of Flooded Soybean Root Exposed to Silver Nanoparticles using Proteomic Technique

○Ghazala Mustafa^{1,2}、Katsumi Sakata³、Setsuko Komatsu^{1,2} (1.Univ. Tsukuba、2.NARO Inst. Crop Sci.、3.Maebashi Inst. Technol.)

16:45～ 18:45

[1LBA086] Proteomic and Morphological Analyses of Post-Flooding Recovery in Soybean Root Exposed to Aluminum Oxide Nanoparticles

○Farhat Yasmeen^{1,2}、Naveed I. Raja¹、Ghazala Mustafa²、Setsuko Komatsu² (1.PMAS-Arid Agri. Univ.、2.NARO Inst. Crop Sci.)

16:45～ 18:45

[1LBA087] Nuclear Proteomics of Soybean Root Tip during Initial Stages of Flooding Stress

○Xiaojian Yin^{1,2}、Setsuko Komatsu^{1,2} (1.Univ. Tsukuba、2.NARO Inst. Crop Sci.)

16:45～ 18:45

[1LBA088] Omics Analysis of Leaf from Clematis terniflora DC. under Binary Stress

OBingxian Yang^{1,2}、Cuixia Gao¹、Meng Chen¹、Xin Wang²、Jingkui Tian¹、Setsuko Komatsu²
(1.Univ. Zhejiang、2.NARO Inst. Crop Sci.)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 11.植物、農生物学、食品科学 | 3) 光合成、環境応答、植物病原微生物

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA090] DNA相同組換え頻度定量可能なモニタリング遺伝子を持つシロイヌナズナカルスを用いた低線量放射線影響の検出

○高橋 真哉^{1,2}、玉置 雅紀³ (1.筑波大・北アフリカ研究センター、2.筑波大・ライフイノベーション学位プログラム、3.国環研・生物センター)

16:45 ~ 18:45

[1LBA091] ストレス顆粒局在因子としてのシロイヌナズナVOZ2の機能解析

○高口 美早紀¹、山崎 加奈子¹、佐藤 雅彦¹ (1.京都府立大・院生命環境)

16:45 ~ 18:45

[1LBA092] 細胞膜マイクロドメインはNADPHオキシダーゼを介して植物免疫を制御する

○長野 稔¹、石川 寿樹¹、藤原 正幸²、島本 功³、川合 真紀¹ (1.埼玉大・院・理工、2.慶應大・先端研、3.奈良先端大・バイオ)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 11.植物、農生物学、食品科学 | 5) 農生物学、食品科学

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA093] Alterations in liver glycosphingolipid content of mice fed a very low carbohydrate ketogenic diet

○奥田 徹哉¹、森田 直樹¹ (1.産総研・生物プロセス)

16:45 ~ 18:45

[1LBA094] 水産生物由来スフィンゴイド塩基の分子種分離法開発

○三上 大輔¹、酒井 祥太¹、佐々木 茂文²、五十嵐 靖之¹ (1.北大院・先端生命、2.道食工セ)

16:45 ~ 18:45

[1LBA095] 酵素消化低分子化フコイダン抽出物と抗ガン剤との併用による抗腫瘍作用増強効果の評価

○加治佐 真吾¹、後藤 梨々子²、江藤 博³、吉田 年宏⁴、白畠 實隆^{1,2,5}、照屋 輝一郎^{1,2,5} (1.九大院生資

環、2.九大院シス生、3.第一産業(株)、4.吉田医院、5.九大院農院)

16:45 ~ 18:45

[1LBA096] ブナシメジ子実体抽出液における溶血活性の発現

○齋藤 広介¹、高村 円香²、木下 加菜²、波佐間 翔人²、中田 宗宏² (1.東海大・院工・工業化学、2.東海大・工・生命化学)

16:45 ~ 18:45

[1LBA097] 酵素消化低分子化フコイダン抽出物とナタマメ抽出物との併用による抗腫瘍作用増強効果

○宮本 菜摘¹、江藤 博²、白畠 實隆^{1,3}、照屋 輝一郎^{1,3} (1.九大院生資環、2.第一産業株式会社、3.九大院農院)

16:45 ~ 18:45

[1LBA098] 酵素消化低分子化フコイダン抽出物による糖鎖構造変化関連遺伝子解析

○林 寛大¹、江藤 博²、白畠 實隆^{1,3}、照屋 輝一郎^{1,3} (1.九大院シス生、2.第一産業株式会社、3.九大院農院)

16:45 ~ 18:45

[1LBA099] エライジン酸による細胞障害作用の解析

○高橋 利枝^{1,2}、神野 茂樹¹、加納 和孝¹ (1.聖徳大・院・人間栄養学、2.東大・院・医)

16:45 ~ 18:45

[1LBA100] オリーブ葉ポリフェノールは大腸癌細胞においてアポトーシス及びオートファジーを亢進する

○茂木 裕暉¹、柳 佑芽²、高橋 明日香²、鈴木 司^{1,2}、小林 謙一^{1,2}、山本 祐司^{1,2} (1.東農大・院農・農芸化学、2.東農大・応生・化学)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 11.植物、農生物学、食品科学 | 6) その他

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA101] 繊維状シアノバクテリアArthrosphaera platensisの滑走運動の解析

○坂井田 彩野¹、白石 英秋¹ (1.京大・院・生命)

16:45 ~ 18:45

[1LBA102] ナス科植物ペチュニアのCullin1遺伝子群の同定と、自家不和合性反応に関する機能解析

○久保 健一¹、塚原 麻衣¹、円谷 徹之²、村瀬 浩司¹、高山 誠司¹ (1.NAIST・院・バイオ、2.大阪大・産業科学研)

16:45 ~ 18:45

[1LBA103] Analysis of indican synthase (UDP-

glucosyltransferase) from Indigo plants.
○守屋 俊希¹、森田 理日斗¹、Sanjog T. Thul²、Bijaya K. Sarangi²、南 善子¹（1.岡山理大・理・生物化学、2.インド国立環境工学研究所）
16:45～ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 14.その他 | 1) その他

[1LBA] Late-Breaking Abstracts 1
16:45～18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[1LBA128] The role of post-translational modification in the regulation of signal transducer and activator of transcription 3 activity.
○Hirotada Kojima¹ (1.Grad. Sch. Med., Osaka City Univ.)
16:45～ 18:45

[1LBA129] 麻酔効果と細胞内ATPレベルの関連性
○井上 勇奎¹、岸川 淳一¹、中西 温子¹、船越 勇毅¹、西村 健司¹、藤川 誠²、今村 博臣³、横山 謙^{1,3}（1.京都産業大学・総合生命科学部生命システム学科、2.東京医科歯科大学・医学部細胞薬理学教室、3.京都大学・生命科学研究科高次生体統御学講座）
16:45～ 18:45

[1LBA130] ヒト正常肝細胞(h-Nheps) およびヒト肝がん由来細胞 (HepG2) に対するミクロシスチン-LRの毒性評価
○池原 強¹、中島 淳一²、中島 志穂子³、安元 健⁴（1.水大校、2.福岡県保健環境研究所、3.福岡大、4.日本食品分析センター）
16:45～ 18:45



2015年12月2日(水)

ポスター会場2

Late-Breaking Abstracts | 8.発生・再生 | 1) 生殖細胞、受精

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2

16:45～18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA001] ATP metabolism in *Xenopus laevis* oocytes:

Is ATP yielded by glycolysis during maturation?

○井尻 貴之¹、岸川 淳一¹、今村 博臣²、崎家 真穂³、上野 秀一³、岩尾 康宏³、横山 謙¹、佐藤 賢一¹
(1.京産大・総合生命・生命システム、2.京大・院生命科学、3.山口大・院医・応用分子生命)

16:45～18:45

[2LBA002] ジンクフィンガータンパク質Zfp318のマウス精子形成における役割

○河野 説彦¹、吉田 薫²、萩原 啓実³ (1.桐蔭横浜大学 大学院 工学研究科、2.桐蔭横浜大学 先端医用工学センター、3.桐蔭横浜大学 医用工学部)

16:45～18:45

[2LBA003] シロイヌナズナの花粉母細胞で発現するCDKの解析

○安積 良隆¹、○中野 翔太¹、清水 隼人¹、布施 季世乃¹
(1.神奈川大・理・生物科学)

16:45～18:45

[2LBA004] ゼブラフィッシュ卵母細胞におけるサイクリンB1 mRNAの局在化と翻訳制御

○高橋 一樹¹、石井 香奈²、山下 正兼³ (1.北大・院生命、2.北大・理・生物、3.北大・院理)

16:45～18:45

[2LBA005] 排卵と卵成熟はcommunicationをとっているか？～排卵におけるGap junctionの関与～

○洲鎌 なづ¹、萩原 克益²、高橋 孝行² (1.北大・院生命、2.北大・院理)

16:45～18:45

[2LBA006] マウス精子形成過程におけるDAZLの機能解析

○仲 拓馬²、新見 夕姫²、鈴木 敦¹ (1.横国・工学研究院、2.横国・工学府)

16:45～18:45

[2LBA007] 精原細胞の維持に必須なマウスDead end 1の機能解析

○菊池 藍¹、新見 夕姫¹、鈴木 敦² (1.横国・工学府、2.横国・工学研究院)

16:45～18:45

[2LBA008] ヒト多能性幹細胞を用いた始原生殖細胞様細胞の試験管内誘導

○横林 しほり^{1,2,3}、佐々木 恒太郎^{1,2}、中村 友紀

1,2、岡本 郁弘^{1,2}、數田 幸宏^{1,2}、栗本 一基^{1,2}、大田 浩^{1,2}、守時 良演^{1,2}、佐々木 裕子⁴、中川 誠人³、斎藤 通紀^{1,2,3,4} (1.京大院・医・機能微細形態学、2.ERATO斎藤全能性エピゲノムプロジェクト、3.京大iPS、4.京大iCeMS)

16:45～18:45

[2LBA009] マウスにおけるがん精巣抗原遺伝子の同定と機能および発現制御の解析

○青木 七菜¹、望月 研太郎¹、松居 靖久¹ (1.東北大・加齢研)

16:45～18:45

Late-Breaking Abstracts | 8.発生・再生 | 2) 初期発生、器官形成、形態形成

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2

16:45～18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA010] E75 regulates the steroid-hormone induced expression of let-7 microRNA in the silkworm, *Bombyx mori*

○Saowaros Chorach¹、Kumiko Matsuno¹、Masataka G. Suzuki¹ (1.Dept. of Integrated Biosci., Grad. Sch. of Frontier Sci., Univ. of Tokyo)

16:45～18:45

[2LBA011] 原始的特徴を示す魚ポリプテルスにおける体幹の側線感丘の形態形成

○重谷 安代¹、矢野 十織¹、岡部 正隆¹ (1.慈恵医大・解剖)

16:45～18:45

[2LBA012] 細胞周期制御因子による骨格形成の調節機構

○猪瀬 弘之¹、斎藤 正徳¹、大川 淳¹ (1.東京医歯大・院・整形外科)

16:45～18:45

[2LBA013] キイロショウジョウバエ複眼レンズ表面の二ッフル形成における細胞骨格性アクチンの役割

○南 龍之介¹、山濱 由美²、針山 孝彦²、木村 賢一¹ (1.北教大・札幌・生物、2.浜松医科大・生物)

16:45～18:45

[2LBA014] 神経管閉鎖過程におけるカノニカルWnt経路とGrhl3 遺伝子を介した未分化前駆細胞から表皮への細胞運命決定機構

○木村-吉田 千春¹、持田 京子¹、Kristina Ellwanger²、Christof Niehrs²、松尾 黙¹ (1.Dept. of Molecular Embryology, Osaka Medical Center for Maternal and Child Health、2.Division of



Molecular Embryology, DKFZ-ZMBH Alliance)

16:45 ~ 18:45

[2LBA015] 腹側中枢神経発生の遺伝子ネットワークの解析

○八塚 敦輝¹、市川 朋¹、安国 勇貴¹、笹井 紀明¹

(1.奈良先端大・バイオ)

16:45 ~ 18:45

[2LBA016] カイコの性決定遺伝子の発現量を制御するmicroRNAの同定

○松野 久美子¹、酒井 弘貴¹、青木 不学¹、鈴木 雅京¹

(1.東大・院新領域・先端生命科学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA017] ヒトiPS細胞由来ポドサイトの遺伝子プロファイリングとその成熟化を促進する新規移植法の開発

○太口 敦博¹、Sazia Sharmin¹、西中村 隆一¹

(1.熊大 発生研 脊髄発生)

16:45 ~ 18:45

[2LBA018] 膜電位によるゼブラフィッシュの骨形成制御

○東 駿平¹、荒巻 敏寛¹、近藤 滋¹ (1.阪大・生命機能・時空生物学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA019] マウスArid2遺伝子の発現パターンとその機能の解析

○柳原 由実¹、久保 純¹、小椋 利彦¹ (1.東北大学 加齢医学研究所 神経機能情報分野)

16:45 ~ 18:45

[2LBA020] 脊椎動物の体軸形成においてLin28a/let-7経路はポリコーム遺伝子発現制御を介してHoxコードを調節している

○佐藤 天平^{1,2}、浅原 弘嗣^{1,2,3,4} (1.東医歯大・システム医学、2.成育セ・システム医学、3.AMED-CREST、4.Dept. of Mol. and Exp. Med., The Scripps Res. Inst.)

16:45 ~ 18:45

[2LBA021] Egg-in-Cube: ニワトリ胚培養のための機能性透明人工殻

○川原 知洋¹、黄 文敬¹、新井 史人² (1.九州工業大学、2.名古屋大学)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 8.発生・再生 | 3) 幹細胞、細胞分化

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA022] カニクイザル胚性幹細胞から腸管上皮細胞様細胞の作製

○福山 了介¹、小野里 太智²、小枝 晓子²、岩尾 岳洋

^{1,2}、松永 民秀^{1,2} (1.名市大・薬・臨床センター、2.名市大・院薬・臨床薬学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA023] 新規三次元培養培地を用いた浮遊培養法でのヒトiPS細胞から肝細胞への分化誘導

○阿武 志保¹、岩尾 岳洋¹、金木 達朗²、松永 民秀¹

(1.名市大・院薬・臨床薬学、2.日産化学工業株式会社)

16:45 ~ 18:45

[2LBA024] ヒトiPS細胞から気道線毛上皮細胞への分化誘導

○小西 聰史¹、後藤 優平¹、立石 和博²、山本 佑樹¹、興梠 陽平¹、長崎 忠雄¹、松本 久子¹、室 繁郎¹、平井 豊博¹、伊藤 功朗¹、月田 早智子²、三嶋 理晃¹

(1.京大・院医・呼吸器内科学、2.阪大・院医・生命機能研究科)

16:45 ~ 18:45

[2LBA025] Tet遺伝子シングル、ダブルおよびトリプルノックアウトES細胞株の特性

○堀居 拓郎¹、森田 純代¹、木村 美香¹、寺脇 直美¹、小林 遼平^{1,2}、田村 大樹¹、木村 博信³、末武 黽³、田嶋 正二³、安部 由美子²、畠田 出穂¹ (1.群馬大・生調研・ゲノム、2.群馬大・保健・生体情報検査、3.阪大・蛋白研・エピジェネティクス)

16:45 ~ 18:45

[2LBA026] ヒト多能性幹細胞からの肺細胞分化誘導時に発現する分泌タンパクの解析

○國分 優子¹、野口 隆明¹、伊藤 泰斗¹、Pi-Chao Wang¹、浅島 誠²、栗崎 晃^{1,3} (1.筑波大学 生命環境科学研究科、2.筑波大学 先端領域学術研究センター、3.産総研 創薬基盤部門 幹細胞工学研究G)

16:45 ~ 18:45

[2LBA027] プラナリア生殖細胞分化におけるDEAD-Box遺伝子の機能

○遠藤 里茶¹、松本 緑¹ (1.慶大・基礎理工)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 8.発生・再生 | 4) 発生工学、再生医療

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA028] 胚盤胞補完法による多能性幹細胞からの血管内皮細胞および血液細胞の同時作製

○濱仲 早苗¹、海野 あゆみ¹、山口 智之¹、中内 啓光^{1,2} (1.東大医科研、2.Stanford Univ.)

16:45 ~ 18:45

[2LBA029] 細胞死抑制を利用して新規キメラ動物形成法

○正木 英樹¹、山口 智之¹、中内 啓光^{1,2} (1.東大・医

科研・幹細胞治療、2.Institute for Stem Cell Biology and Regenerative Medicine, Department of Genetics, Stanford University)
16:45 ~ 18:45

[2LBA030] ジフテリア毒素による薬剤誘導型骨髓破壊的前処置を用いた造血幹細胞移植マウスモデルの開発
○水野 直彬¹、山口 智之¹、山崎 聰¹、中内 啓光^{1,2}
(1.東大医科研・幹細胞治療、2.スタンフォード大)
16:45 ~ 18:45

[2LBA031] 多能性幹細胞の異種胚盤胞注入によりラット体内に機能的なマウス脾臓を作製
○佐藤 秀征¹、伊藤-加藤 めぐみ¹、山口 智之¹、平林 真澄²、中内 啓光^{1,3}
(1.東大・医科研・幹細胞治療、2.生理研・遺伝子改変動物、3.スタンフォード大学)
16:45 ~ 18:45

[2LBA032] RNAリプログラミング法によるヒトiPS細胞の樹立
○稻村 充¹、Sarah Eminli-Meissner²、Jung-II Moon²、Kevin Yi²、Fedir Kiskin³、Baraa Kwieder³、C-Hong Chang³、Nick Morrell³、Chris Huang³、Amer Rana³、吉田 俊介¹、赤平 莉菜¹、Lin Yu-Ching Zachary¹、奥田 雄一¹、戸田 恵二¹、豊田 大地¹、渡辺 朝久¹、本田 誠¹、Brad Hamilton,²
(1.株式会社リプロセル、2.Stemgent Inc、3.University of Cambridge)
16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 8.発生・再生 | 5) その他

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2
16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA033] 1-ブロモプロパン投与ラットにおける精子形態異常の検出
○大谷 勝己¹、ヴィージェ モーセン¹ (1. (独) 労働安全衛生総合研究所)
16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 9.疾患生物学 | 1) がん

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2
16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA034] Caffeine Suppresses the Progression of Human Glioblastoma via Cathepsin B and MAPK Signaling Pathway
○Yu-chen Cheng¹、You-Ming Ding²、Ying Chen^{1,2}
(1.Graduate Institute of Life Science, National

Defense Medical Center, Taipei,
Taiwan、2.Department of Biology and Anatomy,
National Defense Medical Center, Taipei,
Taiwan)
16:45 ~ 18:45

[2LBA036] Association of CSMD2 Gene Polymorphisms with Cancer in a Japanese Population (日本人におけるCSMD2遺伝子多型と癌の関連)
○Sariya Dechamethakun¹、Noriko Sato¹、Shinobu Ikeda¹、Tomio Arai²、Motoji Sawabe³、Masaaki Muramatsu¹、Masashi Tanaka⁴ (1.Department of Molecular Epidemiology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University、2.Department of Pathology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital and Institute of Gerontology、3.Section of Molecular Pathology, Graduate School of Health Care Sciences, Tokyo Medical and Dental University、4.Department of Genomics for Longevity and Health, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology)
16:45 ~ 18:45

[2LBA037] Biochemical changes of salivary gland adenoid cystic carcinoma cells induced by SGI-1776
○Xin Zhu¹、Yizheng Wu³、Zhiqiang Ling¹、Minghua Ge² (1.Zhejiang Cancer Research Institute, Zhejiang Cancer Hospital、2.Department of Head and Neck Surgery, Zhejiang Cancer Hospital、3.Department of clinical medicine, Zhejiang University School of Medicine)
16:45 ~ 18:45

[2LBA038] Genetic Ablation of Smoothened in Tumor-Associated Fibroblasts Promotes Pancreatic Cancer Initiation
○Xin Liu^{1,2}、Jinghai Wu^{1,2}、Jason R. Pitarresi^{1,2}、Veronica Bravo^{1,2}、Ostrowski Michael^{1,2} (1.Comprehensive Cancer Center, The Ohio State University, Columbus, Ohio 43210, USA、2.Department of Molecular Virology, Immunology and Medical Genetics, Ohio State University, Columbus, Ohio 43210, USA)
16:45 ~ 18:45

[2LBA039] MCM2をターゲットとした新規癌治療モデル
○阿部 晋也¹、山本 浩平¹、阿部 志保¹、北川 昌伸¹
(1.東医歯大・医・包括病理)

16:45 ~ 18:45

[2LBA040] 癌細胞におけるゲノムワイドRNAiスクリーニングを用いたp53誘導アポトーシス抵抗性を解除するshRNAの探索

○梅田 璃子¹、井戸川 雅史¹、大箸 智子¹、佐々木 泰史¹、時野 隆至¹ (1.札幌医科大学医学部 フロンティア医学研究所 ゲノム医科学部門)

16:45 ~ 18:45

[2LBA041] スキルス胃癌におけるMet下流シグナル伝達分子の機能解析

○山口 英樹¹、白木原 琢哉¹、堺 隆一¹ (1.国がん研セ・研・難治進行がん)

16:45 ~ 18:45

[2LBA042] 抗がん剤を処理したヒト白血病細胞HL-60の細胞内キナーゼの発現およびリン酸化動態の解析

○杉山 康憲¹、片山 将一¹、亀下 勇¹、森澤 啓子²、樋口 琢磨²、戸高 寛²、木下 英司³、木下-菊田 恵美子³、小池 透³、坂本 修士² (1.香川大・農・応用生物科学、2.高知大・総合研究セ・分子生物、3.広島大院・医歯薬)

16:45 ~ 18:45

[2LBA043] 食道がんにおけるFGFR3IIIcアイソフォームのがん悪性化促進メカニズムの解析

○上野 信洋¹、清水 昭男^{1,2}、金井 陸行³、岩谷 勇吾⁴、上田 修吾⁵、中山 淳⁶、瀬尾 美鈴¹ (1.京産大・総合生命・生命システム、2.滋賀医大・分子病態生物学、3.阪和住吉総合病院・消化器センター、4.信州大・医・消化器内科、5.北野病院・消化器センター外科、6.信州大・医学系研究科・分子病理)

16:45 ~ 18:45

[2LBA044] Oral squamous carcinoma cell line SQUU-B transfers its metastatic potential to the non-metastatic SQUU-A clone from the same patient through the exosomes

○安河内-川久保 友世¹、森岡 政彦^{1,2}、西中川 拓也¹、櫻川 舞¹、中村 誠司²、中島 学¹ (1.福岡大・薬・免疫・分子治療学、2.九州大・院歯・顎顔面腫瘍制御学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA046] 膜結合型チロシン脱リン酸化酵素PTPRKによるがん幹細胞マーカーCD133のチロシン脱リン酸化はAKT/β-catenin経路を介した発がん機構を負に制御する

○松下 雅司¹、下里 修¹、早田 浩明²、内海 京寛¹、中村 瑞代¹、小形 武広¹、尾崎 俊文¹ (1.千葉県がんセ・研・DNA損傷シグナル研、2.千葉県がん

セ・医・消化器外科)

16:45 ~ 18:45

[2LBA047] ガン細胞間におけるSrc誘導性の細胞競合の解析

○大倉 寛也¹、梶原 健太郎¹、石谷 太²、藤田 恭之³、岡田 雅人¹ (1.阪大微研、2.九大生医研、3.北大遺伝子病制御研)

16:45 ~ 18:45

[2LBA048] 大腸癌細胞株においてANXA8はイリノテカンの抗腫瘍効果を減じる?

○畠 春実¹、○町田 昌明²、小林 秀昭³、立道 昌幸^{1,4}、中館 俊夫¹ (1.昭和大・医・衛生学、2.星葉科大・実務教育研究部門、3.帝京平成大・薬、4.東海大・医・公衆衛生学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA049] PHLDA3は下垂体腫瘍の新規がん抑制遺伝子である

○峯岸 舞子^{1,2}、齋藤 梢^{1,3}、チン ヨ^{1,2}、山田 正三⁴、並木 秀男³、仙波 憲太郎^{2,5}、大木 理恵子¹ (1.国立がんセ・研・希少、2.早大院・先進理・生命医、3.早大院・先進理・生命理、4.虎の門病院・脳神外、5.福島医大・医産TRセ)

16:45 ~ 18:45

[2LBA050] SWI/SNF複合体とNF-κBを連結するアダプタータンパク質の機能阻害によるがんの抑制

○中村 真也¹、小林 和善¹、平松 寛明¹、小林 郷介¹、伊庭 英夫¹ (1.東大・医科研・宿主寄生体学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA051] エクソソーム産生関連分子TSG101のがんにおける機能解析

○吉田 孟史^{1,2}、長松 利恵²、Diego Diez²、華山 力成^{1,2} (1.金沢大・医学系、2.阪大・IFReC)

16:45 ~ 18:45

[2LBA052] *in vivo*イメージングを用いた、細胞競合によるがん原性細胞排除システムの解析

○穂枝 佑紀¹、古家 博信¹、岡田 雅人²、石谷 太¹ (1.九州大学 生体防御医学研究所 細胞統御システム分野、2.大阪大学 微生物病研究所 発癌制御研究分野)

16:45 ~ 18:45

[2LBA053] カイコを用いたメラノーマモデルの作製

○相良 萌¹、齋藤 るみ子¹、星 雅典¹、紺谷 祐貴²、加藤 彩恵子²、山田 健吾²、山崎 大樹²、黒崎 直子^{1,2} (1.千葉工大・院工・生命環境科学、2.千葉工大・工学部・生命環境科学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA054] 肝癌細胞のEMT化に伴いセリンの生合成は抑制

される

- 岩本 典子¹、嶋田 崇史¹ (1.株式会社島津製作所)
16:45 ~ 18:45

[2LBA055] 小細胞肺癌の新規治療ターゲットとしてのnSR100と患者血液中に特異的に検出されるmRNAに関する研究

- 下條 正仁¹、首藤 由江² (1.大阪医科大学、2.関西医科大学)
16:45 ~ 18:45

[2LBA056] 白金ナノ粒子と水素ガス併用処理によるヒト白血病細胞HL60細胞死誘導機構の解析とその応用研究

- 中島 麻美¹、黒田 敦子²、濱崎 武記³、樺山 繁⁴、照屋 輝一郎^{1,2,3}、白畠 實隆^{1,2,3} (1.九大院システム、2.九大院生資環、3.九大院農院、4.日本トリム)
16:45 ~ 18:45

[2LBA057] Death-associated protein kinase 3による肺がん進展制御メカニズムの解明

- 臼井 達哉¹、大浜 剛¹、山脇 英之²、佐藤 晃一¹ (1.山口大・獣医・薬理・毒性、2.北里大・獣医・薬理)
16:45 ~ 18:45

[2LBA058] ヒト大腸がん細胞におけるGSK3阻害剤の抗腫瘍効果の検討

- 佐京 智子¹、及川 亜美¹、奈良場 博昭¹、北川 隆之¹ (1.岩手医大・薬・細胞病態生物学)
16:45 ~ 18:45

[2LBA059] OLA1とBRCA1/BARD1二量体の協調的な中心体制御と発がん機構

- 藤田 拓樹¹、吉野 優樹¹、阿部 舜¹、齋 匠成¹、小宮山 裕平¹、石岡 千加史²、千葉 奈津子¹ (1.東北大・加齢研・腫瘍生物学、2.東北大・加齢研・臨瘍)
16:45 ~ 18:45

[2LBA099] がん細胞由来エクソソームに発現するインテグリンががん転移先を決定する

- 星野 歩子¹、Bruno Costa-Silva¹、橋本 彩子¹、Hector Peinado¹、Jacqueline Bromberg¹、David Lyden¹ (1.コーネル大学)
16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 9.疾患生物学 | 2) 免疫、免疫疾患

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA060] ATF7はエピジェネティック記憶を通じて、自然免疫記憶を制御する

- 吉田 圭介¹、前川 利男¹、Yujuan Zhu^{1,2}、Claire R.

- Guillet³、Bruno Chatton⁴、井上 健太郎⁵、内山健⁶、石橋 健一⁷、山田 拓司⁶、大野 尚仁⁷、白髪 克彦³、岡田 真里子⁵、石井 俊輔^{1,2} (1.理研筑波・分子遺伝、2.筑波大学、3.東大・分生研、4.ストラスブル大、5.理研・IMS、6.東工大、7.東京薬科)
16:45 ~ 18:45

[2LBA061] FAM105A は単球系細胞において、LPS 誘導性炎症応答を抑制する

- 横田 翼^{1,2}、福田 亮介¹、Mary Ann Suico¹、首藤剛¹、古賀 友紹¹、小山 皓介¹、甲斐 広文^{1,2} (1.熊大・院薬・遺伝子機能応用学、2.熊大リーディング大学院 HIGOプログラム)
16:45 ~ 18:45

[2LBA062] Identification of WSSV envelope protein VP51B that links the identified protein complexes and which possibly mediates virus infection

- Yi-jhen Lee¹、Li-Li Chen² (1.國立台灣海洋大學 海洋生物科技博士學位學程、2.國立台灣海洋大學 海洋生物研究所)
16:45 ~ 18:45

[2LBA063] 痛み刺激は感覚-交感神経活性化を介して多発性硬化症モデルEAEの再発を誘導する

- 有馬 康伸¹、上村 大輔¹、大木 拓究人¹、樋口 光太郎¹、西川 直樹¹、アンドレア ストフコバ¹、村上 正晃¹ (1.北大・遺制研・分子神経免疫)
16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 9.疾患生物学 | 3) 感染症

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA064] Nedd4依存的な高病原性ウイルスの出芽機構の解析

- 坂部 沙織¹、安田 二朗¹ (1.長崎大・熱研・新興感染症学)
16:45 ~ 18:45

[2LBA065] マラリア原虫の寄生戦略の新規解析法の開発

- 東岸 任弘¹、Jyothee R. Edula¹、堀井 俊宏¹ (1.阪大・微研・分子原虫)
16:45 ~ 18:45

[2LBA066] C型肝炎ウイルス粒子形成におけるc-Ablの役割

- 山内 翔太¹、竹内 健司¹、千原 一泰¹、孫 雪東¹、本定 千知^{1,2}、吉木 はつみ¹、堀田 博³、定 清直¹ (1.福井大・医・ゲノム科学・微生物学、2.福井大・医・内科学(3)、3.神戸大・院医・微生物学)
16:45 ~ 18:45

[2LBA067] 百日咳菌が産生するアデニレートサイクラーゼ
毒素は気道の組織障害を引き起こす

○福井 理¹、戸嶋 ひろ野¹、新澤 直明¹、中村 佳司¹、安倍 裕順¹、堀口 安彦¹ (1.阪大・微研・分子細菌)

16:45 ~ 18:45

[2LBA068] 抗miR-122とDAAを併用することにより、効果的にDAA耐性HCVの出現のを抑制できる

○Fanwei Liu¹、Tetsuro Shimakami¹、Kazuhis Murai¹、Takayoshi Shirasaki¹、Masao Honda¹、Seishi Murakami¹、Shuichi Kaneko¹ (1.金沢大学附属病院消化器内科)

16:45 ~ 18:45

[2LBA069] アンチセンス鎖を介したHIV-1潜伏化制御について

○小林-石原 美栄¹、寺原 和孝¹、池野 翔太^{1,2}、阿戸 学¹、横田-恒次 恭子³ (1.感染研・免疫部、2.早稲田大・院先進理工・共同先進健康科学、3.東京工科大・医療保健・臨床検査)

16:45 ~ 18:45

[2LBA070] 齧周病原細菌*Porphyromonas gingivalis*の線毛産生を調節するセンサーヒスチジンキナーゼの機能マッピング：発現ベクターと遺伝子相補株ライブラリーの構築

○西川 清¹ (1.愛知学院・歯・微生物・有床義歯)

16:45 ~ 18:45

[2LBA071] NGSによる吸血性節足動物保有ウイルスの探索と解析

○藤田 龍介^{1,2}、江尻 寛子²、伊澤 晴彦²、沢辺 京子² (1.日本医療研究開発機構、2.国立感染研)

16:45 ~ 18:45

[2LBA072] エキノコックス幼虫（包虫）は宿主の補体活性を阻害しながら増殖する—多包虫セリンプロテアーゼインヒビターの働き—

○佐々木 瑞希¹、迫 康仁¹ (1.旭川医大・医・寄生虫)

16:45 ~ 18:45

[2LBA073] MERSコロナウイルスマRNAのUTRはnsp1との相互作用により、nsp1による翻訳抑制を回避する

○寺田 豊^{1,2}、前田 健¹、松浦 善治³、神谷 亘⁴ (1.山口大・共同獣医、2.(独)日本学術振興会特別研究員PD、3.大阪大学微生物病研究所・分子ウイルス分野、4.大阪大学微生物病研究所・臨床感染症学研究グループ)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 9.疾患生物学 | 4) 代謝疾患、生活習慣病、メタボロミクス、老化

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA074] ワラビPterosin BのForskolin誘導性G6Pc遺伝子の抑制機構

○伊東 祐美¹、渕野 裕之²、川原 信夫²、竹森 洋¹ (1.医薬健栄研・代謝疾患、2.医薬健栄研・薬用植物)

16:45 ~ 18:45

[2LBA075] CYP1A1遺伝子は内臓肥満に関与する？ヒト化マウスによる解析

○畠 春実¹、立道 昌幸^{1,2}、町田 昌明³、細野 知彦⁴、荒田 悟^{4,5}、小林 秀昭⁶、中館 俊夫¹ (1.昭和大・医・衛生学、2.東海大・医・公衆衛生学、3.星葉科大・実務教育研究部門、4.昭和大・動物実験施設、5.昭和大・遺伝子組換え実験室、6.帝京平成大・薬)

16:45 ~ 18:45

[2LBA076] 文献情報に基づいた老化関連遺伝子研究の潮流：過去・現在・未来

○權 娟大¹、永田 宏次¹、宮川 拓也¹、由良 敬²、田之倉 優¹ (1.東大・院農・生命科学、2.お茶大・院・人間文化創成科学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA077] 食事誘導性肥満の発症におけるリノール酸の効果

○井上 雅文¹、田中 智洋^{1,2}、園山 拓洋¹、里見 佳典³、平山 愛³、Mark Christian C. Manio⁴、荻野 陽平¹、Tingting Guo¹、井上 和生⁴、中尾 一和¹ (1.京大・医・MIC・TKPJ、2.先端医療振興財団・先端医療センター、3.武田薬品工業(株)、4.京大・農学・食品生物科学・栄養化学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA078] LC-MS/MSによる最終糖化産物AGEsの定量法の開発とヒト血清試料への適用

○能見 祐理¹、上田 悅子²、大倉 肇³、山本 一博³、大塚 譲⁴ (1.新潟薬科大・応生科、2.鳥取大・医・保健、3.鳥取大・医・病態情報内科、4.戸板女子短大・食物栄養)

16:45 ~ 18:45

[2LBA079] 成長ホルモンによるインスリン抵抗性にGLUT4のセリンリン酸化が果たす役割

○渡部 千尋¹、久保 真実子¹、米澤-曾根 芽里¹、伯野 史彦¹、高橋 伸一郎¹ (1.東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻/応用動物科学専攻 動物細

胞制御学研究室)

16:45 ~ 18:45

[2LBA080] 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) の診断マーカーの探索

○長嶺 憲太郎¹、瀧野 純一¹、竹内 正義²、堀 隆光¹
(1.広島国際大・薬、2.金沢医大・総医研)

16:45 ~ 18:45

[2LBA081] 細胞老化誘導 miRNA の網羅的探索

○山本 佑樹¹、高木 翔太¹、福永 早央里¹、木根原 匡希²、村岡 賢²、嶋本 誠²、田原 栄俊² (1.広大・院医歯薬保健学研究科・細胞分子生物学、2.広大・院医歯薬保健学研究院・細胞分子生物学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA082] 新規老化モデルとしてのテトラスパニンC D9/CD81二重欠損マウス

○武田 吉人¹、○近藤 康³、金 英姫¹、立花 功¹、杉本 研²、伊藤 真里³、藤井 雄太³、Lokesh P. Tripathi⁴、水口 賢司⁴、熊ノ郷 淳¹ (1.大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科、2.大阪大学大学院医学系研究科 老年内科、3.大日本住友製薬株式会社、4.国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 バイオインフォマティクスプロジェクト)

16:45 ~ 18:45

[2LBA083] 3T3-L1細胞において、d

ehydroepiandrosteroneはAMPキナーゼの活性化を介して脂肪細胞分化を抑制する
○横川 拓海¹、佐藤 幸治²、成澤 誠子³、木戸 康平³、森 理紗子³、岩中 伸壯³、林 達也¹、橋本 健志³ (1.京大・人環、2.神戸大・人間発達環境、3.立命館大・スポーツ健康)

16:45 ~ 18:45

[2LBA084] Effects of Brazilian green propolis on type 2 diabetes

○鶯尾 浩平¹、木村 俊介²、直江 吉則³、宮本 智美⁴、三好 一郎⁴、北村 浩^{1,4} (1.酪農大・獣医・獣生理、2.北大・院医・細胞組織、3.長寿研・老化機構・免疫、4.名市大・院医・病態モデル)

16:45 ~ 18:45

[2LBA085] ユビキチン特異的プロテアーゼ 2 Aは脂肪組織の炎症を抑制する

○田代 あすか¹、木村 俊介²、宮本 智美³、福島 早苗⁴、嶋本 良則⁵、三好 一郎³、高橋 英機⁴、北村 浩^{1,3} (1.酪農大・獣医・獣生理、2.北大・院医・細胞組織、3.名市大・医・病態モデル、4.理研・脳・動物資源、5.酪農大・獣医看護・動物疾病)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 9.疾患生物学 | 5) 脳、神経、精神疾患

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA086] パーキンソン病モデルマウス脳内における酸化DJ-1の分布

○檍 拓磨¹、片岡 佑斗¹、林 宏次朗¹、三田 雄一郎¹、斎藤 芳郎¹、野口 範子¹ (1.同志社大・生命医科学部・システム生命科学研究室)

16:45 ~ 18:45

[2LBA087] 統合失調症患者の前頭葉におけるタンパク質プロファイリングと変動する分子ネットワークの同定

○平山 未央^{1,2}、國井 泰人³、松本 純弥³、和田 明³、日野 瑞城³、矢部 博興³、丹羽 真一⁴、近藤 豪⁵、瀬藤 光利⁵、大槻 純男^{1,2} (1.熊本大院・生命科学、2.AMED-CREST、3.福島医大・医、4.福島医大・会津医療センター、5.浜松医科大・医)

16:45 ~ 18:45

[2LBA088] 血中DNAのメチル化を指標としたアルツハイマー病早期診断法の開発

○坂口 和弥¹、新飯田 俊平²、橋本 有弘¹、下田 修義¹ (1.国立長寿セ・再生再建、2.国立長寿セ・メディカルゲノムセンター)

16:45 ~ 18:45

[2LBA089] The depletion of FOXO3 transcription factor promotes neuronal phenotype of α -synuclein Lewy Body models.○龍 訥¹、丸山 光生¹、南山 誠¹、丸山 和佳子²、本山 昇^{1,3} (1.長寿研・老化機構、2.愛知学院大・心身科学部・健康栄養、3.帽山文学園大・生活科学部・管理栄養)

16:45 ~ 18:45

[2LBA090] 慢性社会的敗北ストレスがマウス大腸のタイト結合構成蛋白質の遺伝子発現に与える効果

○山岸 直子¹、青木-吉田 綾子²、守谷 直子¹、後藤 達彦^{3,4}、豊田 淳^{3,4,5}、青木 玲二¹、鈴木 チセ¹、高山 喜晴¹ (1.農研機構・畜草研、2.東大院・農生、3.茨城大・農、4.茨城大・農医連携、5.東京農工大院)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 9.疾患生物学 | 6) 遺伝性疾患

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA091] 無侵襲的出生前遺伝学的検査 (NIPT) における胎児成分の定量方法の確立
 ○大内 雄矢¹、加藤 武馬²、上林 あす香³、柴田 沙季²、野田 佳照³、西澤 春紀³、藤井 多久磨³、倉橋 浩樹^{1,2} (1.藤田保健衛生大学 疾患遺伝子網羅的解析センター、2.藤田保健衛生大学 分子遺伝学、3.藤田保健衛生大学病院 産婦人科)

16:45 ~ 18:45

[2LBA092] がん原遺伝子BRAFの機能獲得性変異は先天性異常を引き起こす
 ○井上 晋一¹、守谷 充司^{1,2}、宮川・富田 幸子³、中島 八隅⁴、大場 大樹¹、新堀 哲也¹、橋 美里⁵、大西 浩史⁵、吳 繁夫²、松原 洋一^{1,6}、青木 洋子¹ (1.東北大・医・遺伝医療、2.東北大・医・小児、3.ヤマザキ学園大・動物看護、4.聖隸浜松病院・小児、5.群馬大・院・保・生体情報、6.国立成育医療研究センター)

16:45 ~ 18:45

[2LBA093] 患者由来細胞を用いたGorlin症候群iPS細胞の樹立と解析
 ○小野寺 晶子¹、大庭 伸介²、長谷川 大悟³、篠-落合 宏美¹、渡邊 章³、大高 真奈美⁴、西村 健⁵、中西 真人⁴、片倉 朗⁶、鄭 雄一²、柴原 孝彦³、東 俊文¹ (1.東歯大・生化、2.東大・院工・バイオエンジニアリング、3.東歯大・口腔顎顔面外科、4.産総研 創薬基盤、5.筑波大・医学医療・遺伝子制御、6.東歯大・口腔病態外科)

16:45 ~ 18:45

[2LBA094] C末端トランスサイレチンフラグメントのアミロイド形成機構および細胞へ与える影響の解析
 ○泉 拓希¹、植田 光晴¹、水口 峰之²、豊島 梨沙¹、末永 元輝¹、本川 拓誠¹、木下 祐美子¹、田崎 雅義¹、井上 泰輝¹、三隅 洋平¹、増田 曜章¹、山下 太郎¹、安東 由喜雄¹ (1.熊大・神経内科、2.富山大・構造生物学)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 9.疾患生物学 | 7) 診断・検査、異物代謝、毒物学

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2
 16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA095] 組織スクリーニング向け大気圧走査型電子顕微鏡

○久田 明子¹、大南 祐介² (1.日立製作所・研究開発グループ、2.日立ハイテクノロジーズ)

16:45 ~ 18:45

[2LBA096] 甲状腺細胞診液状化検体からの細胞回収とRNA抽出の改善

○石橋 宰¹、軸菌 智雄^{1,2,3}、廣川 満良⁴、乾 隆¹、杉谷 巖³ (1.大阪大・院・生命環境、2.小山記念病院・甲状腺、3.日医大・内分泌外、4.隈病院・病理)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 9.疾患生物学 | 8) その他

[2LBA] Late-Breaking Abstracts 2
 16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[2LBA097] In vivo骨格筋最大収縮に伴う細胞内糖取り込み制御因子の応答

○木戸 康平¹、阿藤 聰¹、横川 拓海²、蒔苗 裕平^{1,3}、佐藤 幸治^{1,4}、藤田 聰¹ (1.立命館大学、2.京都大学、3.防衛大学、4.神戸大学)

16:45 ~ 18:45

[2LBA098] プロポリス抽出物は筋芽細胞におけるサイトカインの産生を刺激する。

○吉川 勇輝¹、鷺尾 浩平¹、小林 真央¹、齊藤 奈津子¹、天笠 美聰¹、北村 浩¹ (1.酪農学園)

16:45 ~ 18:45

2015年12月3日(木)

ポスター会場2

Late-Breaking Abstracts | 2.タンパク質 | 1) 構造生物学、機能予測

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45～18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA104] RNA スプライシングにおける3'スプライス部位の認識機構

○尾林 栄治¹、吉田 尚史²、朴 三用²、小田 隆²、佐藤 衛²、武藤 裕³、浦野 健¹ (1.島根大・医、2.横浜市大・生命医科学、3.武蔵野大・薬)

16:45～ 18:45

[3LBA105] クライオ電顕を用いた単粒子解析による V-ATPase 構造解析の試み

中西 温子¹、岸川 淳一¹、竹内 奈央¹、光岡 薫²、○横山 謙¹ (1.京都産業大学総合生命科学部、2.大阪大学超高压電子顕微鏡センター)

16:45～ 18:45

[3LBA106] 真核微生物由来tRNA(Gm34)メチル化酵素 Trm7-Trm734の構造機能解析

○岡田 圭祐¹、吉井 一晃¹、平田 章¹、堀 弘幸¹ (1.愛媛大・院理工・物質生命工)

16:45～ 18:45

[3LBA107] コリネ型細菌由来PDHc/ODHc超複合体の構造機能相関解析

○山内 健太郎¹、古園 さおり²、川崎 寿¹、夏目 亮¹ (1.東電大院・工、2.東大・生物生産工学研究センター)

16:45～ 18:45

[3LBA108] 蛾の性フェロモン生合成活性化神経ペプチドP BANのC末端アミド化の構造と機能への影響

○山口 和茂¹、片山 幸江¹、河合 岳志¹、Joe Hull²、松本 正吾³、長澤 寛道^{1,4}、永田 宏次¹、田之倉 優¹ (1.東大・院農・応用生命化学、2.USDA-ARS、3.理研、4.浙江大・生科学院)

16:45～ 18:45

[3LBA109] Mdm12とMmm1によるリン脂質輸送メカニズムの解明

○河野 慎¹、遠藤 斗志也¹ (1.京産大・総合生命・生シス)

16:45～ 18:45

[3LBA110] CENP-Aのセントロメア局在に関わるM is18BPタンパク質の新規ドメインの構造機能解析

○松田 麻理子¹、白川 昌宏¹、有吉 真理子¹ (1.京大・院工・分子工学)

16:45～ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 2.タンパク質 | 2) フォールディングと品質管理

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45～18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA111] Induced protein folding in *E. coli* by artificial macromolecular interaction.

○Soonbin Kwon¹、Seong Il Choi²、Baik Lin Seong¹ (1. Department of Biotechnology, College of Engineering, Yonsei University, Seoul 120-749, Korea.、2. Department of Biochemistry and Biophysics, Stockholm University, 106 91 Stockholm, Sweden.)

16:45～ 18:45

[3LBA112] ATPの加水分解が引き起こすGroELサブユーニットの動的構造変化

○藤井 豊¹、本郷 邦広¹、河田 康志¹、溝端 知宏¹ (1.鳥取大・院工・化学生物応用)

16:45～ 18:45

[3LBA113] モヤモヤ病タンパク質ミステリンの離合集散と血管・筋肉制御

○森戸 大介¹、小谷 友理¹、西川 幸希²、山崎 悟³、高島 成二⁴、藤吉 好則²、平田 普三⁵、永田 和宏¹ (1.京都産業大学総合生命科学部、2.名古屋大学細胞生理学研究センター、3.国立循環器病センター、4.大阪大学大学院医学研究科、5.青山学院大学理工学部)

16:45～ 18:45

[3LBA114] *Streptococcus intermedius* DnaKを用いたグラム陰性菌DnaKに特異的な保存領域の機能解析

○棚次 亮介¹、友安 俊文¹、田端 厚之¹、長宗 秀明¹ (1.徳島大・院・STS・ライフシステム)

16:45～ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 2.タンパク質 | 3) タンパク質分解

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45～18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA115] ERαはUBE3CのユビキチンE3リガーゼ活性に対するリガンド依存的な調整因子として機能する

○岡田 麻衣子¹、大竹 史明²、西川 裕之³、佐伯 泰⁴、田中 啓二⁴、太田 智彦¹ (1.聖マリアンナ・応用分子腫瘍学、2.国立衛生研・毒性部、3.聖マリアンナ・先端研、4.東京都医学総合研究所・タンパク質代謝)

16:45～ 18:45

[3LBA116] 組織性カリクリーンによるラット神経幹細胞のI

L-1受容体の切断

- 岩館 寛大¹、峰更穂¹、木原 ちひろ¹、下里 隆弘¹
 (1.山理大・工・応化)
 16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 2.タンパク質 | 4) タンパク質修飾

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3
16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA117] 転写と共役した修復におけるCSBタンパク質の機能にはC末端領域とSUMO化が必要である
 ○申 育實^{1,2}、田中 亀代次¹、西條 将文¹ (1.阪大・生命・細胞機能学、2.国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬デザイン研究センター 人工核酸SP)

16:45 ~ 18:45

[3LBA118] 接着分子CADM1のシェディングは選択的スライシングにより制御されている
 ○白壁 恒子¹、大村 卓也¹、柴垣 芳夫²、三原 恵美子³、加藤 幸成⁴、高木 淳一³、服部 成介²、小川 佳宏¹
 (1.医科歯科大・院医歯、2.北里大・薬、3.大阪大・蛋白研、4.東北大・院医)
 16:45 ~ 18:45

[3LBA119] ジアシリグリセロールキナーゼαの218番目のチロシンリン酸化はドメイン間相互作用と高次構造を変化させる
 ○脇阪 昌明¹、岩下 智秋¹、濱田 大三^{2,3}、祇園 景子³、上田 修司¹、山之上 稔¹、鶴田 宏樹³、白井 康仁¹
 (1.神戸大院・農・生命機能・動物資源、2.神戸大院・工・応用化学・化学工学、3.神戸大・連携創造本部・応用構造科学産学連携推進センター)
 16:45 ~ 18:45

[3LBA120] 古細菌無細胞タンパク質合成系によって駆動される古細菌Secタンパク質膜透過装置の再構成
 ○山崎 貴大^{1,2}、神田 大輔² (1.九大・システム生命科学府・構造生命科学、2.九大・生医研・構造生物学)
 16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 2.タンパク質 | 5) プロテオミクス

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3
16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA121] Interactome analysis identified a novel interaction form of TCTP and translaton elongation factors in Neurofibromatosis-type 1-associated tumors.
 ○小林 大樹¹、徳田 高穂¹、長山 慶¹、平山 未央²、大槻 純男²、荒木 令江¹ (1.熊本大・院生命・腫瘍医

学、2.熊本大・院生命・微生物薬学)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 2.タンパク質 | 6) その他

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3
16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA122] Characterization of A Novel Heme Transporter in Animals

- Menega Ganases¹、Iqbal Hamza²、Yoshitsugu Shiro^{1,3}、Hitomi Sawai¹ (1.Grad. Sch. of Life Sci., Univ. of Hyogo、2.Dept. of Animal & Avian Sci., Univ. of Maryland、3.RIKEN SPring-8 Center, Hyogo)

16:45 ~ 18:45

[3LBA123] アネキシンA11の酸性リン脂質に対する結合特異性とCa²⁺要求性の解析

- 加村 悟史¹、京 卓志¹、高原 照直¹、牧 正敏¹、柴田 秀樹¹ (1.名大・院生命農・応用分子生命科)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 3.酵素・レドックス・生体エネルギー | 1) 酵素の反応機構・調節・阻害

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3
16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA124] V型ATPaseのエネルギー共役機構とプロトンポンプ活性

- 平田 かえで¹、中西 温子¹、○岸川 淳一¹、横山 謙¹
 (1.京都産業大学・総合生命・生命システム)

16:45 ~ 18:45

[3LBA125] アルギニンメチル化を介したマクロファージの解糖系制御機構の解明

- 山本 雄広^{1,2}、伊藤 真衣¹、石渡 恭子^{1,2}、高野 直治^{1,2}、内藤 善子^{1,2}、菱木 貴子¹、末松 誠^{2,3} (1.慶應義塾大学・医学部・医化学教室、2.JST-ERATO 末松ガスバイオロジープロジェクト、3.慶應義塾大学・医学部)

16:45 ~ 18:45

[3LBA126] PP2A阻害タンパク質Inhibitor-1、-2は異なるPP2A複合体種を識別する

- 日野 浩嗣¹、高木 香織¹、持田 悟^{1,2,3,4} (1.熊大・大院先導機構、2.熊大・発生医学研究所、3.熊大・国際先端医学研究機構、4.JSTさきがけ)

16:45 ~ 18:45

[3LBA127] シアノバクテリア由来DyP型ペルオキシダーゼ
 ○糸賀 修¹、種子田 隼人¹、芦田 裕之²、石川 孝博¹、澤 嘉弘¹ (1.島根大・生資科・生命工、2.島根

大・総科センター・遺伝子)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 3.酵素・レドックス・生体エネルギー | 2) 酸化還元酵素、金属酵素

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA128] アスパラギン酸セミアルデヒド結合型ホモセリン脱水素酵素のX線結晶構造解析

○赤井 翔太¹、水田 啓文²、生城 浩子³、澤井 大樹³、林 秀行⁴、矢野 貴人³、神谷 信夫^{1,5}、宮原 郁子¹
(1.大阪市大・院理、2.大阪市大・理学部、3.大阪医大・生化学、4.大阪医大・化学、5.大阪市大・複合先端)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 3.酵素・レドックス・生体エネルギー | 3) 酵素一般

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA129] *Anoxybacillus flavigermans*由来ピリミジン系ヌクレオチド合成酵素群の遺伝子解析

○永井 航太¹、藤本 大樹¹、前川 成美¹、井上 翔太²、大岩 由利恵²、佐藤 高則³ (1.徳島大・総科・生化、2.徳島大院・総科・生化、3.徳島大院・SAS・生化)

16:45 ~ 18:45

[3LBA130] 脂質代謝酵素ジアシルグリセロールキナーゼの多様なモノアシルグリセロールキナーゼ活性

○佐藤 優里子¹、坂根 郁夫¹ (1.千葉大・院・理・化)

16:45 ~ 18:45

[3LBA131] 自閉症児・生徒の集団で、自閉症状が著しく改善したグループにおける、αアミラーゼ定量時の生化学的特徴

○阪本 健補¹ (1.-)

16:45 ~ 18:45

[3LBA132] アラビアガムで培養した*Bifidobacterium longum* subsp. *longum* JCM7052から精製した2種類のα-グルコシダーゼの性質と遺伝子の同定

○山本 勇³、才新 直子¹、上田 雅美²、和田 明²
(1.神戸女子短大、2.吉田生物研、3.神戸女子大学・家政)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 3.酵素・レドックス・生体エネルギー | 4) 補酵

素、ビタミン、ミネラル

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA133] *Caulobacter crescentus*由来アミノレブリン酸合成酵素の結晶構造解析

○主馬野 祐希¹、生城 浩子²、矢野 貴人²、神谷 信夫^{1,3}、宮原 郁子¹ (1.大阪市大・院理、2.大阪医大・生化学、3.大阪市大・OCARINA)

16:45 ~ 18:45

[3LBA134] Identification and Characterization of a Novel Adenosylcobalamin-dependent Isomerase

○北西 健一^{1,2}、Ruma Banerjee² (1.理研・放射光、2.ミシガン大・生物化学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA135] 第二相反応酵素発現酵母を用いたビタミンE代謝物抱合体の調製

○高平 梨可¹、岩本 明日夏¹、西川 美宇¹、安田 佳織¹、鎌倉 昌樹¹、榊 利之¹、生城 真一¹ (1.富山県大院・工・生物工)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 3.酵素・レドックス・生体エネルギー | 5) 生体エネルギー変換、電子伝達系

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA136] *Streptococcus mutans* F型H⁺-ATPaseにおけるεサブユニットC末端領域の欠失

○西村 拓生¹、杉浦 健斗¹、佐々木 由香¹、岩本(木原)昌子¹ (1.長浜バイオ・バイオサイエンス)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 4.細胞の構造と機能 | 3) 細胞内物流システム

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA137] リサイクリングエンドソームにおけるB RCA2の新規機能の可能性

○高岡 美帆¹、中西 啓¹、三木 義男¹ (1.東京医科歯科大・難研・分子遺伝)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 6.ゲノムと遺伝情報 | 1) ゲノム、染色体、核の構造と機能

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA001] FANTOM5プロジェクトで同定されたエンハンサーと疾患との関連

○吉原 正仁^{1,2}、村川 泰裕^{1,3}、川路 英哉^{1,3,4}、西川 実希³、Zayed Hatem⁵、鈴木 治和¹、林崎 良英³
 (1.理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター 機能性ゲノム解析部門、2.大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学(眼科学)、3.理化学研究所 予防医療・診断技術開発プログラム、4.理化学研究所 情報基盤センター 予防医療・ゲノミクス応用開発ユニット、5.Dept. of Health Sciences, Biomedical Program, Qatar Univ.)

16:45 ~ 18:45

[3LBA002] 次世代シーケンサーによるHd-i遺伝子を移入した晩生コシヒカリの全ゲノム解析

○富田 因則¹、石井 一夫²、岩瀬 雄大¹、山崎 賢也¹
 (1.静岡大学グリーン科学技術研究所、2.東京農工大学農学部)

16:45 ~ 18:45

[3LBA003] バクテリオファージφ29の感染に抵抗性を持つ枯草菌変異株の探索と解析

○小田嶋 拓矢¹、刀禰 高広¹、兼崎 友²、竹内 有¹、吉川 博文^{2,3}、牧野 修¹ (1.上智大・理工、2.東京農大・NGRC、3.東京農大・バイオ)

16:45 ~ 18:45

[3LBA004] 次世代シーケンサーを用いたがん関連409遺伝子のターゲットシーケンス解析

○佐々木 泰史¹、小山 良太¹、中垣 貴文¹、田村 みゆき¹、大箸 智子¹、井戸川 雅史¹、時野 隆至¹ (1.札幌医大・医・フロンティア研・ゲノム)

16:45 ~ 18:45

[3LBA005] M期におけるlamin A-RepoMan間相互作用の時空間的解析

○長栄 良平¹、森内 昂文¹、木藤 健太¹、大隅 隆¹、廣瀬 富美子¹ (1.兵庫県立大院・生命理学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA006] Human contamination in assembled genomes
 Kirill Kryukov¹、○今西 規¹ (1.東海大・医・分子生命科学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA007] 細菌叢解析にDNA Polymeraseが与える影響

○木口 悠也¹、蘆田 尚子¹、辻本 善政¹、鳩田 雅光¹、北川 正成¹ (1.タカラバイオ・バイオメディカルセンター)

16:45 ~ 18:45

[3LBA008] 真球度を用いた、核内構造体の形状の定量的評価

○堀越 保則^{1,2}、田代 聰^{1,2} (1.広島大・原医研・細胞修復制御、2.広島大・クロマチン動態数理研究拠点)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 6.ゲノムと遺伝情報 | 2) クロマチン、エピジェネティクス

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA009] Dioxin induces rapid-onset yet durable epigenetic modulation of the Cyp1a1 promoter

○Hesbon A Zablon¹、Chiharu Tohyama¹、Ohsako Seichihiro¹ (1.Lab. of Environ. Health. Sci., Grad. Sch. of Medicine., Univ. of Tokyo)

16:45 ~ 18:45

[3LBA010] マウス肝臓におけるFGF21遺伝子発現のエピゲノム制御とその分子機構の解明

○袁 熟梅¹、辻本 和峰²、川堀 健一²、橋本 貢士³、小川 佳宏² (1.東京医科歯科大・院医歯・臓器代謝ネットワーク、2.東京医科歯科大・院医歯・分子内分泌代謝学、3.東京医科歯科大・院医歯・メタボ先制医療)

16:45 ~ 18:45

[3LBA011] Chd5はマウス胚性幹細胞においてMuERV-L/MERVLの発現を抑制する

○林 正康^{1,2}、前原 一満¹、原田 哲仁¹、仙波 雄一郎^{1,2}、工藤 健介³、高橋 秀尚⁴、沖 伸弥⁵、目野 主税⁵、一柳 健司⁶、赤司 浩一²、大川 恭行¹ (1.九州大学医学研究院先端医療医学部門、2.九州大学医学研究院病態修復内科学講座、3.九州大学医学研究院消化器総合外科、4.北海道大学大学院医学研究科医学専攻医学分野、5.九州大学医学研究院発生再生医学分野、6.九州大学生体防御医学研究所ゲノム機能制御学部門エピゲノム制御学分野)

16:45 ~ 18:45

[3LBA012] HP1様タンパク質のリン酸化はヘテロクロマチンの凝集を制御する

○片岡 研介¹、望月 一史¹ (1.オーストリア科学アカデミー)

16:45 ~ 18:45

[3LBA013] Whole-mount MeFISH : 特定DNA配列メチル化と遺伝子/タンパク質発現の同時イメージング

○志浦 寛相^{1,2}、阿部 訓也¹ (1.理研バイオリソースセンター、2.東京医歯大・難研)

16:45 ~ 18:45

[3LBA014] RNAヘリケースをコードする分裂酵母 p

$rp14^+$ 遺伝子のセントロメアヘテロクロマチン形成における機能解析

○西岡 詩織¹、森田 京¹、弓掛 辰洋¹、知念 まどか
¹、井手上 賢¹、谷 時雄¹ (1.熊本大・自然科学・生命
科学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA015] 生殖系列の成立に重要な因子PRDM14の複合体成分の同定と機能解析

○中島 紗香¹、岡下 修己¹、谷 直紀³、中村 輝²、関
由行¹ (1.関学・理工・生命科学、2.熊大・発生・生
殖発生、3.熊大・発生)

16:45 ~ 18:45

[3LBA016] エピジェネティックな制御を受けるオート
ファジー関連遺伝子の解析

○丹野 夏美¹、林 哲郎¹、馬野 彩音¹、三橋 祐太¹、石
田 憲香¹、勝俣 圭一郎¹、高野 恵太¹、吉田 健一¹
(1.明大・院農・生命科学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA017] ミセル包含酸化剤を用いた一塩基レベルでの5-
ヒドロキシメチルシトシン検出法

○福沢 世傑^{1,3,4}、高橋 沙央里²、橘 和夫¹、田嶋 正二
²、末武 黥^{2,3} (1.東大・院理・化学、2.阪大・蛋白
研、3.CREST, AMED、4.日本電子)

16:45 ~ 18:45

[3LBA018] PRDM14の分子進化解析に基づいた機能ドメインの探索

○川口 真範¹、橋本 翔太¹、阪下 奈穂¹、東田 将大
¹、河村 大輔¹、大渕 将克¹、諏訪 喜昭¹、関 由行¹
(1.関学・理工・生命)

16:45 ~ 18:45

[3LBA019] 維持型メチル化酵素Dnmt1による再構成ヌクレ
オソーム内のヘミメチルDNAのメチル化特性

○三島 優一¹、岡 翔太¹、田嶋 正二¹、末武 黥^{1,2}
(1.阪大・蛋白研、2.JST、CREST)

16:45 ~ 18:45

[3LBA020] Involvement of Nuclear Protein in Testis
(Nut) in Male Genome Reorganization

○塙田 仁志¹、Thierry Buchou¹、Minjia Tan²、F
ayçal Boussouar¹、Alexandra Debernardi¹、Sophie
Barral¹、Sandrine Curtet¹、Matthieu Gérard³、Z
hao Yingming⁴、Sophie Rousseaux¹、Saadi
Khochbin¹ (1.Institut Albert Bonniot、2.Shanghai
Institute of Materia Medica、3.iBiTec-s、4.Ben
May Dept. of Cancer Research)

16:45 ~ 18:45

[3LBA021] DNA配列認識小分子によるエピゲノム制御

○篠原 憲一^{1,3}、依田 夏美²、渡部 隆義³、永瀬 浩喜
³、金田 篤志^{1,2} (1.千葉大・院医・分子腫瘍

学、2.千葉大・医、3.千葉県がんセンター・研究所)

16:45 ~ 18:45

[3LBA022] Infiniumを用いたゲノムワイドDNAメチル化解
析のためのWebツールDamaの開発

○飯田 直子¹、山下 聰¹、前田 将宏¹、牛島 俊和¹
(1.国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分
野)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 6.ゲノムと遺伝情報 | 3) DNA複製、DNA組換え
、DNAの変異と修復

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA023] In vitro site-specific recombination

mediated by XerA from *Thermoplasma
acidophilum*

○Minji Jo¹、Yasuhiro Tsutsui^{1,2}、Hiroshi Iwasaki¹
(1.Grad. Sch. of Biosci. and Biotechnol., Tokyo
Institute of Technology、2.(pesent address)
Roche Diagnostics)

16:45 ~ 18:45

[3LBA024] Chromatin remodeler SMARCA4 recruits

topoisomerase 1 and suppresses
transcription associated genomic instability
○Afzal Husain¹、Nasim A. Begum¹、Takako
Taniguchi²、Hisaaki Taniguchi²、Maki
Kobayashi¹、Tasuku Honjo¹ (1.Deptartment of
Immunology and Genomic Medicine, Graduate
School of Medicine, Kyoto University, Yoshida-
Konocho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8501,
Japan、2.Division of Disease Proteomics,
Institute for Enzyme Research, University of
Tokushima, 770-8503, Japan)

16:45 ~ 18:45

[3LBA025] DHX36によるグアニン四重鎖構造の解離を介し
た遺伝的安定性の維持

○水本 綾佳¹、定家 真人¹、石川 冬木¹
(1.京大・院・生命科学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA026] 分裂酵母Stn1は複製困難な染色体領域における
正常な複製に重要である

○山本 唯央¹、滝川 雅大¹、石川 冬木¹ (1.京都大
学・院・生命科学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA027] 分裂酵母Chp2タンパク質の接合型変換における
機能解析

○池崎 裕太¹、筒井 康博¹、真木 孝尚¹、黒川 裕美子¹、村山 泰斗¹、岩崎 博史¹ (1.東工大院・生命理工)
16:45 ~ 18:45

[3LBA028] 分裂酵母の接合型変換に関する遺伝子の網羅的検索

○小川 直也¹、Alfredo Chavez Esquivel¹、末續 美優¹、真木 孝尚¹、筒井 康博²、岩崎 博史¹ (1.東工大院、生命理工学研究科、2.ロシュ・ダイアグノスティック)
16:45 ~ 18:45

[3LBA029] Regulatory role of human DNA-PKcs in DNA double-strand break repair

○渡部 瑠¹、斎藤 慎太¹、黒沢 純¹、足立 典隆^{1,2} (1.横浜市大院・生命ナノシステム・生命環境システム、2.横浜市大・先端医科学研究センター)
16:45 ~ 18:45

[3LBA030] Development of a high-efficiency gene-targeting system in human somatic cells: mechanistic analysis of vector integration
○斎藤 慎太¹、足立 典隆^{1,2} (1.横浜市大院・生命ナノシステム・ゲノムシステム科学、2.横浜市大・先端医科学研究センター)
16:45 ~ 18:45

[3LBA031] BMCC1はE2F1によって発現しATMのリン酸化を促進する

○巽 康年¹、イスラム モハマド サジヤドウル¹、中村 洋子¹、大平 美紀^{1,2}、中川原 章³ (1.千葉がん・研、2.埼玉県がんセ・臨床腫瘍研、3.佐賀県医療セ・好生館)
16:45 ~ 18:45

[3LBA032] ミスマッチ修復因子MSH2の発現系の確立と変異体の解析

○林田 元気^{1,4}、中津 可道¹、日高 京子²、藤兼 亮輔³、日高 真純³、釣本 敏樹⁴、續 輝久¹ (1.九大・医・基礎放射線医学、2.北九州市立大・基盤教育センター、3.福岡歯科大・細胞分子生物学・分子機能制御学、4.九大・理・生物科学・染色体機能学)
16:45 ~ 18:45

[3LBA033] ATPアナログを利用したATR基質同定法の開発
○塙谷 文章¹ (1.国がんセ・研・遺伝医学)
16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 6.ゲノムと遺伝情報 | 4) 転写調節

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA034] グルコース応答性転写因子ChREBPの機能制御因子の探索

○野呂 英理香¹、横山 敦¹、小暮 直敬¹、清水 恭子¹、島 弘季²、五十嵐 和彦²、菅原 明¹ (1.東北大・院・分子内分泌学、2.東北大・院医・生物化学)
16:45 ~ 18:45

[3LBA035] 軟骨細胞におけるSox9の作動様式の同定

○大庭 伸介¹、Xinjun He²、北條 宏徳²、Andrew P. McMahon² (1.東大・院工・バイオエンジ、2.南カリフォルニア大)
16:45 ~ 18:45

[3LBA036] ヒト胚盤胞期胚の年齢による遺伝子発現変化

○高木 清考^{1,2,3}、原田 竜也²、久保田 俊郎²、石野 史敏¹、幸田 尚¹ (1.東京医歯大・難治研・エビジェネティクス、2.東京医歯大・医歯学総合・生殖機能協関学、3.亀田メディカルセンター・不妊生殖科)
16:45 ~ 18:45

[3LBA037] 重複GGAAモチーフのがん関連遺伝子制御性cis-エレメントとしての可能性

○内海 文彰¹、田沼 靖一² (1.東京理科大学・薬学部・遺伝子制御学、2.東京理科大学・薬学部・生化学)
16:45 ~ 18:45

[3LBA038] 大腸菌転写因子FimZによる細胞形態変化とその制御機構

○小川 綾乃¹、小駒 大輝¹、石浜 明²、山本 兼由^{1,2} (1.法政大・生命科学、2.法政大・ナノテクセンター)
16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 6.ゲノムと遺伝情報 | 5) RNAプロセシング、輸送、翻訳、非コードRNA

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA039] シロイヌナズナ由来RNase P様タンパク質酵素(PRORP)の基質認識機構に関する研究

○今井 崇喜¹、中村 崇裕^{1,2}、中島 崇^{1,2}、角田 佳充^{1,2}、木村 誠^{1,2} (1.九大院・生資環、2.九大院・農)
16:45 ~ 18:45

[3LBA040] 熱ショックタンパク質の発現量調節を担うmRNAに関する理論的研究

○森 義治¹、奥村 久士^{1,2} (1.分子研、2.総研大)
16:45 ~ 18:45

[3LBA041] 生殖細胞の分化・成熟に関わる低分子RNAの探索

○太田 博允¹、松居 靖久¹ (1.東北大・加齢研・医用)

細胞資源センター)

16:45 ~ 18:45

[3LBA042] 新規機能性RNA発現デバイスiRedを用いたmRNA産生による遺伝子発現抑制効果の検討
○三木 和也¹、山村 桃子¹、田良島 典子²、山崎 尚志¹、南川 典昭²、滝口 祥令¹ (1.徳島大学・薬学部・薬物治療学、2.徳島大学・薬学部・生物有機化学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA043] シャペロンタンパク質Hsp70を介した分裂酵母膜結合タンパク質Ptr10pのmRNA核外輸送への関与
○平井 晋哉¹、村上 晃司¹、斎藤 希¹、宮部 麻耶子¹、有田-石橋 綾子¹、谷 時雄¹ (1.熊本大学・自然科学・生命科学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA044] MAPキナーゼ経路を制御するmicroRNAの探索
○北川 はるか¹、秋元 航¹、貝瀬 好美¹、吉田 健一¹ (1.明大・院農・生命科学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA045] 神経細胞におけるRNP顆粒の形成機構の解析
○吉田 篤史¹、古川 真理¹、坂本 博¹、井上 邦夫¹ (1.神大・院理・生物学専攻)

16:45 ~ 18:45

[3LBA046] シトクロムP450の構造多型における多様性
○松尾 亜矢子¹、遠藤 大二¹、尾野 由佳¹、北澤 多喜雄¹、○寺岡 宏樹¹ (1.酪農学園大・獣医)

16:45 ~ 18:45

[3LBA047] Automated separation of surface antigen specific exosome from serum

○安井 大輔¹、櫻井 友里²、宮下 雪子²、上田 哲也² (1.一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム、2.プレシジョン・システム・サイエンス株式会社)

16:45 ~ 18:45

[3LBA048] ゼブラフィッシュ卵母細胞のmRNA輸送機構の解析

○高松 陽紀¹、坂本 博¹、井上 邦夫¹ (1.神戸大・院理・生物学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA049] miR-222はRNA-binding protein 24を標的として顎下腺細胞株NS-SV-ACの細胞増殖に関与する

○水澤 典子¹、岩田 武男¹、吉本 勝彦¹ (1.徳島大・院医歯薬学・分子薬理学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA050] 脊椎動物における脳神経系特異的選択的スプラ

イシングの比較解析

○中田 圭祐¹ (1.長浜バイオ大・院・バイオサイエンス)

16:45 ~ 18:45

[3LBA051] CLIP-seqデータの統合解析の現状と今後の展望
○岩切 淳一¹、浅井 潔¹ (1.東大・新領域)

16:45 ~ 18:45

[3LBA052] ゼブラフィッシュ初期胚での遺伝子Tob1aによる母性mRNA制御機構の解析

○山畠 俊哉¹、坂本 博¹、井上 邦夫¹ (1.神戸大・院理学・生物学)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 6.ゲノムと遺伝情報 | 6) その他

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA053] Characterization of Crenarchaeal DNA

Folding Dynamics

○Marie isabelle A Viola¹、Eloise I Prieto¹ (1.Natl. Inst. of Molecular Biology and Biotechnology, Univ. of Philippines Diliman)

16:45 ~ 18:45

[3LBA054] 紅色光合成細菌*Rhodovulum sulfidophilum*

DSM 1374株およびDSM 2351株のゲノム配列比較とRNA-seqによる発現解析
○長尾 信義¹、広瀬 侑^{1,2}、米川 千夏¹、梅影 創¹、菊池 洋^{3,4} (1.豊橋技大・院工・環境・生命工学、2.豊橋技大・EIIRIS、3.豊橋技大・RAC、4.早大・院先進理工・生命理工学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA055] 食事誘導性肥満における父性遺伝の役割について

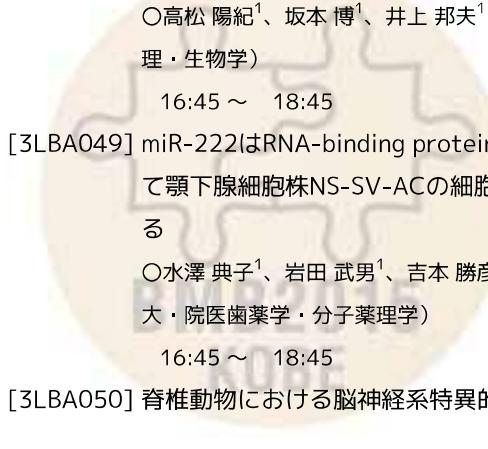
○森田 純代¹、中林 一彦²、河合 智子²、林 恵子²、堀居 拓郎¹、木村 美香¹、亀井 康富³、小川 佳宏⁴、秦健一²、畠田 出穂¹ (1.群大・生調研・生体情報ゲノムリソースセンター、2.国立成育医療研究センター・周産期病態、3.京都府立大・生命環境科学研究所・分子栄養学、4.東京医科歯科大・医歯学総合研究科・分子内分泌代謝学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA056] イトマキヒトデのde novoアセンブリ

○千代島 隆広¹、立花 和則¹、梶谷 嶺¹、岸本 健雄^{1,2}、伊藤 武彦¹ (1.東工大・院生命理工・生命情報、2.お茶大・S&Eセンター)

16:45 ~ 18:45



Late-Breaking Abstracts | 10.神経科学 | 2) シナプス伝達、可塑性、記憶、学習、行動

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA138] ドジョウCryファミリー遺伝子の同定と発現解析

○竹内 悠記¹、更谷 有哉¹、阿部 大輝¹、岡野 恵子

¹、岡野 俊行¹ (1.早大・理工学術院・先進理工・電生)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 12.バイオテクノロジー、新領域、進化 | 1) バイオインフォマティクス

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA057] RNA - RNA結合タンパク質の結合領域を2次元可視化するソフトウェアの開発とその応用

○玉木 聰志^{1,2}、富田 勝^{1,2,3}、金井 昭夫^{1,2,3}

(1.慶大・院・政策・メディア 先端生命科学、2.慶大・先端生命科学研究所、3.慶大・環境情報学部)

16:45 ~ 18:45

[3LBA058] 視床下部トランск립トームから明らかとなる肥満の病態と病期

○田中 智洋^{1,2}、園山 拓洋¹、沢田 啓¹、井上 雅文

¹、荻野 陽平¹、郭 婷婷¹、中尾 一和¹ (1.京大・院医・メディカルイノベーションセンター、2.公財) 先端医療振興財団・先端医療センター)

16:45 ~ 18:45

[3LBA059] 全ゲノムシーケンスにおけるiPS安全評価のためのNGSライブラリの比較

○天野 直己¹、古川 史織¹、谷嶋 成樹²、北岡 文美代

¹、北野 優子¹、野宮 唯¹、桑原 順子¹、金子 孝一¹、北島 和彦¹、森 典子¹、福岡 一郎¹、高橋 朋子¹、山中 伸弥¹、野村 真樹¹ (1.京大・iPS細胞研究所、2.三菱スペース・ソフトウェア)

16:45 ~ 18:45

[3LBA060] 乳癌と正常組織を識別する遺伝子セットの網羅的探索

○池田 雅志¹、Arun Vaidyanath¹、公文 一輝¹、水谷 昭文¹、妹尾 彰正¹、工藤 孝幸¹、笠井 智成¹、妹尾 昌治¹ (1.岡大・院自・生医工)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 12.バイオテクノロジー、新領域、進化 | 2) システムバイオロジー、合成生物学

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA061] Cell-cycle-synchronized oscillations of an autoregulated gene in *E. coli*: Testing possible biomolecular mechanisms by stochastic simulation

○Zach Hensel¹ (1.Okinawa Institute of Science and Technology (OIST))

16:45 ~ 18:45

[3LBA062] 機械学習による血中アミノ酸濃度から肝臓脂肪蓄積量の予測

増田 正人¹、館野 昌洋¹、西 宏起²、高橋 伸一郎²、塩谷 隆二¹、○伯野 史彦² (1.東洋大学・計算力学研究センター、2.東大・院農学生命・応用動物科学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA063] 細胞間相互作用による抗生物質耐性の解析のための大腸菌コロニー擬似共培養系の高効率作製

○濱野 洋茂¹、鮎川 翔太郎^{1,2}、瀧ノ上 正浩¹、木賀 大介^{1,3} (1.東工大院・総理工・知能システム、2.東工大・情報生命博士教育院、3.東工大・地球生命研)

16:45 ~ 18:45

[3LBA064] 人工mRNAスイッチによるヒト内在性タンパク質の検知

○川崎 俊輔¹、齊藤 博英¹ (1.iPS細胞研究所)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 12.バイオテクノロジー、新領域、進化 | 3) 分子進化、分類

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA065] 東京・荒川から発見された新たな巨大ウイルス「Tokyovirus」に関する報告

○武村 政春^{1,2}、三上 達也²、室野 晋吾² (1.東京理科大・理・教養・生物、2.東京理科大・院科学教育・生物教育)

16:45 ~ 18:45

[3LBA066] レトロポゾンの挿入比較に基づく水鳥類の系統解析とコウノトリ科の系統的位置の解明

○藏本 多恵¹、西原 秀典¹、渡辺 麻衣子²、岡田 典弘^{3,4} (1.東工大・院生命理工、2.国立医薬品食品衛生研究所、3.国際科学振興財団、4.国立成功大)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 12.バイオテクノロジー、新領域、進化 | 4) オミクス解析技術 (ゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクス)

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA067] デジタルRNA-Seqのための枠組み：ランダム

バーコードによる核酸分子の正確なデジタル定量およびその評価基準

○松本 悠希¹、Kirill Kryukov²、伊川 友活³、今西 規²、城口 克之¹ (1.理研・IMS・オミクス研究、2.東海大・医・分子生命科学、3.理研・IMS・免疫細胞再生)

16:45 ~ 18:45

[3LBA068] マイクロアレイによるRNAモチーフとタンパク質の相互作用の網羅的解析のための新手法

○小松 醒^{1,2}、櫻田 俊一²、田谷 敏貴²、齊藤 博英² (1.京大・院医・医科学、2.iPS細胞研究所・未来生命開拓部門)

16:45 ~ 18:45

[3LBA069] ヒトミトコンドリアゲノムデータ統合解析

ツール「MitogenomeAnalyzer」の開発

○石谷 孔司¹、植田 信太郎¹ (1.東大・院理・生物科学)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 12.バイオテクノロジー、新領域、進化 | 5) 遺伝子工学、核酸工学、ゲノム編集

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA070] 新規部位特異的組み換え酵素システムV

Cre/VIoxPとSCre/SloxPを利用した哺乳類細胞における高効率遺伝子カセット挿入法

○長谷川 嘉則¹、渡辺 貴志²、池野 正史³、小原 収^{1,2}、中山 学¹ (1.公益財団法人かずさDNA研究所 技術開発研究部、2.独立行政法人理化学研究所横浜研究所 統合生命医科学研究センター 統合ゲノミクス研究グループ、3.株式会社 クロモリサーチ)

16:45 ~ 18:45

[3LBA071] CRISPR/Casを用いたOxytocin受容体欠損平原ハタネズミの作製

○堀江 謙吾¹、平山 貴士¹、鈴木 紳吾¹、平岡 優一¹、日出間 志寿¹、福田 智一²、西森 克彦¹ (1.東北大・院農・分子生物、2.東北大・院農・動物遺伝育種)

16:45 ~ 18:45

[3LBA072] 特異的ヒストンアセチル化による導入プラスミドDNAの発現上昇

○西原 実香^{1,2}、鈴木 哲矢²、紙谷 浩之^{1,2} (1.愛媛大・院・理工、2.広大・院・医歯薬保)

16:45 ~ 18:45

[3LBA073] 非標的部位に導入した塩基-塩基ミスマッチがtailed duplexによる配列変換へ与える影響

○西垣 奈津希^{1,2}、鈴木 哲矢²、中津 可道³、績 輝久³、紙谷 浩之^{1,2} (1.愛媛大・院・理工、2.広大・院・医歯薬保、3.九大・院・医)

16:45 ~ 18:45

[3LBA074] *C. elegans*におけるCRISPR/Cas9 systemによるゲノム編集法の確立

○澤村 理英^{1,2}、山中 邦俊¹ (1.熊本大・発生研・分子細胞制御、2.現・熊本大・自然科学研究科)

16:45 ~ 18:45

[3LBA075] 人工ヌクレアーゼを用いた遺伝子ノックアウト細胞の樹立およびブタの作出効率

○渡邊 將人^{1,2}、松成 ひとみ^{1,2}、中野 和明^{1,2}、梅山 一大^{1,3}、長屋 昌樹¹、宮川 周士³、花園 豊⁴、中内 啓光⁵、長嶋 比呂志^{1,2} (1.明治大学バイオリソース研究国際インスティテュート、2.明大・農、3.阪大院・医、4.自治医大、5.東大医科研)

16:45 ~ 18:45

[3LBA076] フレームシフト変異下流からの翻訳再開によるGLI3タンパク質発現

○牧野 茂¹、福村 龍太郎¹、権藤 洋一¹ (1.理研BRC)

16:45 ~ 18:45

[3LBA077] オルガネラターゲッティング技術によるヒ素耐性植物体作製の試み

○小提 彩水¹、平野 朋子¹、清野 正子²、佐藤 雅彦¹ (1.京府大、2.北里大)

16:45 ~ 18:45

[3LBA078] 塩基変換による切らないゲノム編集

○西田 敬二¹、小嶋-坂野 聰美²、荒添 貴之²、島谷 善平²、近藤 昭彦² (1.神戸大・自然科学系先端融合、2.神戸大・院・工学研究科)

16:45 ~ 18:45

[3LBA079] リコンビナントdCas9によるゲノムDNAの試験管内精製

○田中 裕二郎¹ (1.東京医科歯科大学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA080] 新規pH応答性担体を用いた高効率なHBV治療siRNA

○小原 道法¹、山本 直樹¹、佐藤 悠介²、棟方 翼¹、真田 崇弘¹、加国 雅和³、立野 知世³、原島 秀吉² (1.都医学研・感染制御、2.北大・薬学、3.フェニックスバイオ)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 12.バイオテクノロジー、新領域、進化 | 6) タンパク質工学、抗体工学、細胞工学

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA081] 哺乳類細胞質内におけるシグナル分子の膜局在を利用した細胞内抗体の選択

○鹿島 大揮¹、長棟 輝行¹、河原 正浩¹ (1.東大・院工・化生)

16:45 ~ 18:45

[3LBA082] 毛根由来正常細胞の培養～現代版ノアの箱舟を目指して～

○山口 泰典¹、古志 直之¹、田下 智亜紀¹ (1.福山大学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA083] カイコシステムで造った鰻の性成熟ホルモンの可能性

○Sunmee Hong¹、JiHyun Choi¹、SunJung Jo¹、DaeJung Kim²、KwanSik Min³ (1.海洋バイオ研究所、2.国立水産科学院、3.ハンギョンデ)

16:45 ~ 18:45

[3LBA084] 静電界中油中液滴操作の培養細胞株に対する遺伝子導入への応用

○高雄 康大¹、岸川 健太¹、栗田 弘史¹、沼野 利佳¹、高島 和則¹、水野 彰¹ (1.豊技大・環境生命)

16:45 ~ 18:45

[3LBA085] タンパク質の高効率細胞内デリバリー

○飯島 加奈子¹、中山 典久²、佐野 健一^{1,2} (1.日本工大・工・創造システム、2.日本工大・院工・環境共生)

16:45 ~ 18:45

[3LBA086] ユニークな戦略で多様性を創製したsemi-syntheticアルパカVHHファージディスプレイライブラリーからの標的抗原結合性クローニング単離と解析

○村上 明一¹、吉田 麻衣子²、東 隆親²、中山 浩³、村岡 仁³、岸本 英博¹ (1.琉大・院医・寄生虫、2.抗体工学研究センター、3.パナソニック株式会社)

16:45 ~ 18:45

[3LBA087] 機能性抗体を探索する技術の開発とがん微小環境を標的とした抗体の探索

○福原 武志¹、松浦 優太¹、清水 亜里紗¹、小木曾 友彦¹、金 垣志¹、菅原 由美香¹、久世 恵奈¹、田中 克延¹、岡本 勇人¹、渡部 徹郎^{1,2} (1.東京薬科大学・生命科学・腫瘍医科学、2.科学技術振興事業団さきがけ)

16:45 ~ 18:45

[3LBA088] ドメインライブラリーを利用した低分子抗体の迅速スクリーニングから見える活性ルール
杉山 在生人¹、○梅津 光央¹、中澤 光¹、浅野 竜太郎

¹、熊谷 泉¹ (1.東北大・院工・バイオ工)

16:45 ~ 18:45

[3LBA089] Rational design of orthogonal gene transcription nano device on DNA origami

○増渕 岳也¹、多田隈 向史²、飯塚 恵³、遠藤 政幸²

²、船津 高志³、杉山 弘²、原田 慶惠²、上田 卓也¹

(1.東大院・新領域、2.京大・iCeMS、3.東大院・葉)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 12.バイオテクノロジー、新領域、進化 | 7) ケミカルバイオロジー

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA090] フコキサンチン誘導体の合成および活性

○今場 司朗¹、小竹 英一²、町田 幸子¹ (1.農研機構・機能分子、2.農研機構・脂質)

16:45 ~ 18:45

[3LBA091] 小分子化合物によるOct3/4遺伝子発現の活性化

○佐藤 慎祐¹、朝光 世煌²、Thangavel Vaijayathi²、Namasivayam Ganesh Pandian¹、谷口純一²、Junetha Syed Jabarulla²、Anandhakumar Chandran²、Tingting Zou²、Yulei Wei²、橋谷 かおり²、板東 俊和²、杉山 弘^{1,2} (1.京大・CeMS、2.京大・院理・生物化学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA092] リボヌクレアーゼA添加によるDNAへのペプチド核酸のインベーション促進

○田仲 真紀子¹、鷗 成実¹、小宮山 真¹ (1.筑波大・T ARAセ)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 12.バイオテクノロジー、新領域、進化 | 8) バイオイメージング、バイオセンサー

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2 (神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA093] A型インフルエンザウイルス検出における既存迅速診断法及び新規検出手法の横断的検出限界比較

○高原 悠佑¹、古谷 俊介²、鳴石 奈穂子²、Penmetcha K.M. Kumar³、永井 秀典²、粟津 浩一¹、藤巻 真¹ (1.産総研・電子光技術、2.産総研・健康工学、3.産総研・バイオメディカル)

16:45 ~ 18:45

[3LBA094] 細胞膜上でカリウムイオンを検出するタンパク質ラベル化型蛍光プローブ

○寺井 琢也^{1,2}、平田 智也¹、長野 哲雄³、浦野 泰照

^{1,2,4} (1.東大・院薬、2.AMED CREST、3.東大・創薬機構、4.東大・院医)

16:45 ~ 18:45

[3LBA095] 单一生細胞における蛍光寿命顕微鏡法を用いた微観的温度計測

○伊藤 秀城^{1,2}、新井 敏^{3,4}、Thankiah Sudhaharan²、Young-Tae Chang^{5,6}、石渡 信一^{4,7}、鈴木 団^{3,4}、E. Birgitte Lane² (1.早大・先進理工研・物理応物、2.シンガポール・科学技術研究庁・医学生物学研究所、3.早大・重点領域研究機構、4.早稲田シンガポール研、5.シンガポール・科学技術研究庁・シンガポールバイオイメージングコンソーシアム、6.シンガポール国立大・化学生、7.早大・先進理工・物理)

16:45 ~ 18:45

[3LBA096] RNAの分解と寿命の解明

○大西 誠¹、中林 孝和²、渡邊 和則¹、大槻 高史¹ (1.岡大・院自、2.東北大・院薬)

16:45 ~ 18:45

[3LBA097] CD4に結合するDNAアプタマーの解析とCD4発現細胞の検出への応用

○矢野 和義¹、柴田 俊奈生¹、西山 銀侍¹、清水 智夫¹、白谷 明子¹、清水 雅史¹、片岡 尚希¹、佐藤 淳¹ (1.東京工科大・応用生物)

16:45 ~ 18:45

[3LBA098] 組織細胞間コミュニケーションのライティングに資する細胞形態マーカー発現マウスの作製

○今西 彩子¹、小松 直貴¹、松田 道行^{1,2} (1.京大・院生命・生体制御、2.京大・院医・病態生物医学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA099] PhyB-P1Fを用いた光遺伝学的システムの開発と応用

○宇田 耀一¹、松田 道行²、青木 一洋³ (1.京大・医学・病態生物、2.京大・生命・生体制御、3.京大・生命・生命動態)

16:45 ~ 18:45

Late-Breaking Abstracts | 12.バイオテクノロジー、新領域、進化 | 9) その他

[3LBA] Late-Breaking Abstracts 3

16:45 ~ 18:45 ポスター会場2(神戸国際展示場 1号館2F)

[3LBA100] 祖先的中胚葉の再構築と脊椎動物頭部の進化

○尾内 隆行¹、荒巻 敏寛²、猪股 秀彦³、平井 珠美¹、倉谷 滋¹ (1.理研・倉谷形態進化、2.阪大・院生命・パターン形成、3.理研・多細胞システム・体軸動

態)

16:45 ~ 18:45

[3LBA101] 嫌気条件で腐植物質を分解する地下環境褐炭由来の微生物群について

○上野 晃生¹、清水 了¹、玉村 修司¹、荒牧 憲隆¹、山本 慎一²、重吉 八郎²、長沼 純³、金子 勝比古¹ (1.幌延地圏環境研究所、2.三菱マテリアル株式会社、3.広島大院・生物圏科学)

16:45 ~ 18:45

[3LBA102] 单細胞紅藻*Cyanidioschyzon merolae* (シジン) の遺伝子改変ホスト株の分離

○瀧 景子^{1,2}、曾根 俊之¹、小林 勇気¹、渡辺 智^{2,3}、今村 壮輔^{1,2}、田中 寛^{1,2} (1.東工大・資源研、2.CREST, JST、3.東京農大)

16:45 ~ 18:45

[3LBA103] 唾液細菌叢の概日リズムと食事の影響

○高安 伶奈¹、須田 亘¹、小鳥遊 景泰¹、西嶋 傑¹、飯岡 恵里香¹、高木 美沙¹、黒川 李奈¹、進藤 智絵¹、服部 恭江¹、山下 直子¹、小宮 恵子¹、大島 健志朗¹、服部 正平¹ (1.東大院・新領域)

16:45 ~ 18:45

